

新型コロナウイルスワクチンの長期的な副反応と
思われる症状で受診された方の症例集
(Case Collection Of Nagoya) (第2報)

名古屋市

一般社団法人 名古屋市医師会

公益社団法人 愛知県看護協会

目次

| | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 名古屋市における長期的な副反応相談体制の概要 | 2 |
| 3 | 調査の概要 | 3 |
| 4 | 症例の概要 | 7 |
| 5 | 症例サマリー | 13 |
| 6 | 症例の調査検討 | 16 |
| 7 | おわりに | 23 |

| | | |
|-------|-------------------|----|
| 【資料1】 | 長期的な副反応相談窓口への相談実績 | 26 |
|-------|-------------------|----|

| | | |
|-------|----------------|----|
| 【資料2】 | 調査票・追跡調査票のサンプル | 43 |
|-------|----------------|----|

| | | |
|-------|---------------|----|
| 【資料3】 | 名古屋市のワクチン接種状況 | 49 |
|-------|---------------|----|

<本症例集の中で取り扱う用語の定義>

・長期的な副反応

新型コロナウイルスワクチン接種後、おおむね2週間以上経過しても継続している症状

・協力医療機関

新型コロナウイルスワクチン接種後の長期的な副反応が疑われる症状がある方を、なごや新型コロナウイルスワクチン長期的な副反応相談窓口から案内することに同意のあった医療機関

令和5年3月27日 第1報

令和5年9月25日 第2報

名古屋市新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの 長期的な副反応に関する治療状況調査・検討会

○目的

この検討会は新型コロナウイルスワクチンの長期的な副反応に関する相談後の治療状況調査を実施し、その結果を取りまとめるために設置された。名古屋市新型コロナウイルス感染症対策室がとりまとめ等の庶務を担い、各委員が執筆協力や助言をする形で運営されている。

○委員

| 委員名（敬称略） | 所属・役職 |
|----------|----------------------|
| 竹中 基晃 | 一般社団法人 名古屋市医師会 理事 |
| 結城 房子 | 公益社団法人 愛知県看護協会 常務理事 |
| 松原 史朗 | 前・名古屋市 健康福祉局医監（保健所長） |
| 小嶋 雅代 | 名古屋市 健康福祉局医監（保健所長） |

・類似の名称の委員会に「名古屋市予防接種健康被害調査委員会」がある。この委員会は予防接種に起因すると考えられる健康被害が発生した際、当該事例について医学的見地から調査・審議を行うもので、本市が健康被害救済給付請求を国に進達する際の審議を主に実施している。長期的な副反応に関する治療状況調査・検討会と目的は異なるが、対象の案件がそれぞれの目的に従って双方に付議される可能性はある。

1 はじめに

新型コロナウイルスワクチンの長期的な副反応と思われる症状で受診された方の症例集（Case Collection Of Nagoya）（第2報）発行に際し、これまで相談窓口を担当された愛知県看護協会、診療していただいた協力医療機関、情報収集・分析された名古屋市等、この事業に関わられたすべての皆様に対して心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンは、新興感染症である新型コロナウイルス感染症におけるゲームチェンジャーとして期待され、接種が進められてきました。

現在、オミクロン株の出現により、感染予防効果や発症予防効果は低下したものの一定期間、一定力価の免疫が得られ、新型コロナウイルス感染症による重症化予防、死亡者数の減少に寄与したことは、大きな成果と言えます。これは、人間の叡智の結集であり、今後現れる新興感染症においても人類全体のノウハウとして活用されると考えます。

しかし、その一方で日常生活に支障をきたすような副反応は、ワクチンの常として完全に防ぐことはできません。我々人類は、新しい技術のリスクとベネフィットの両方をしっかりと認識する必要があります。

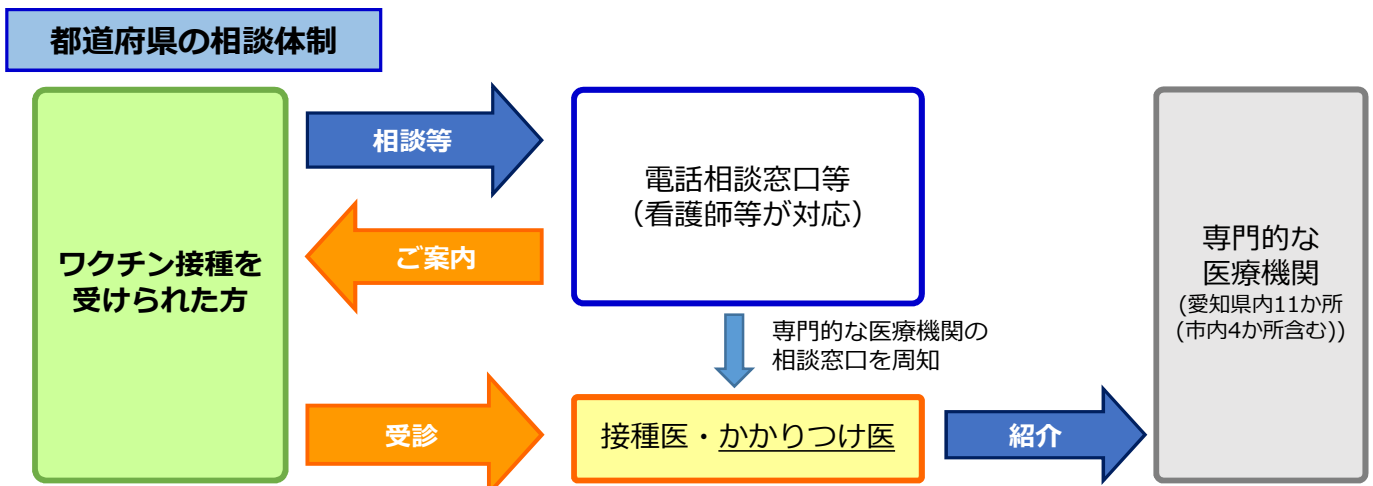
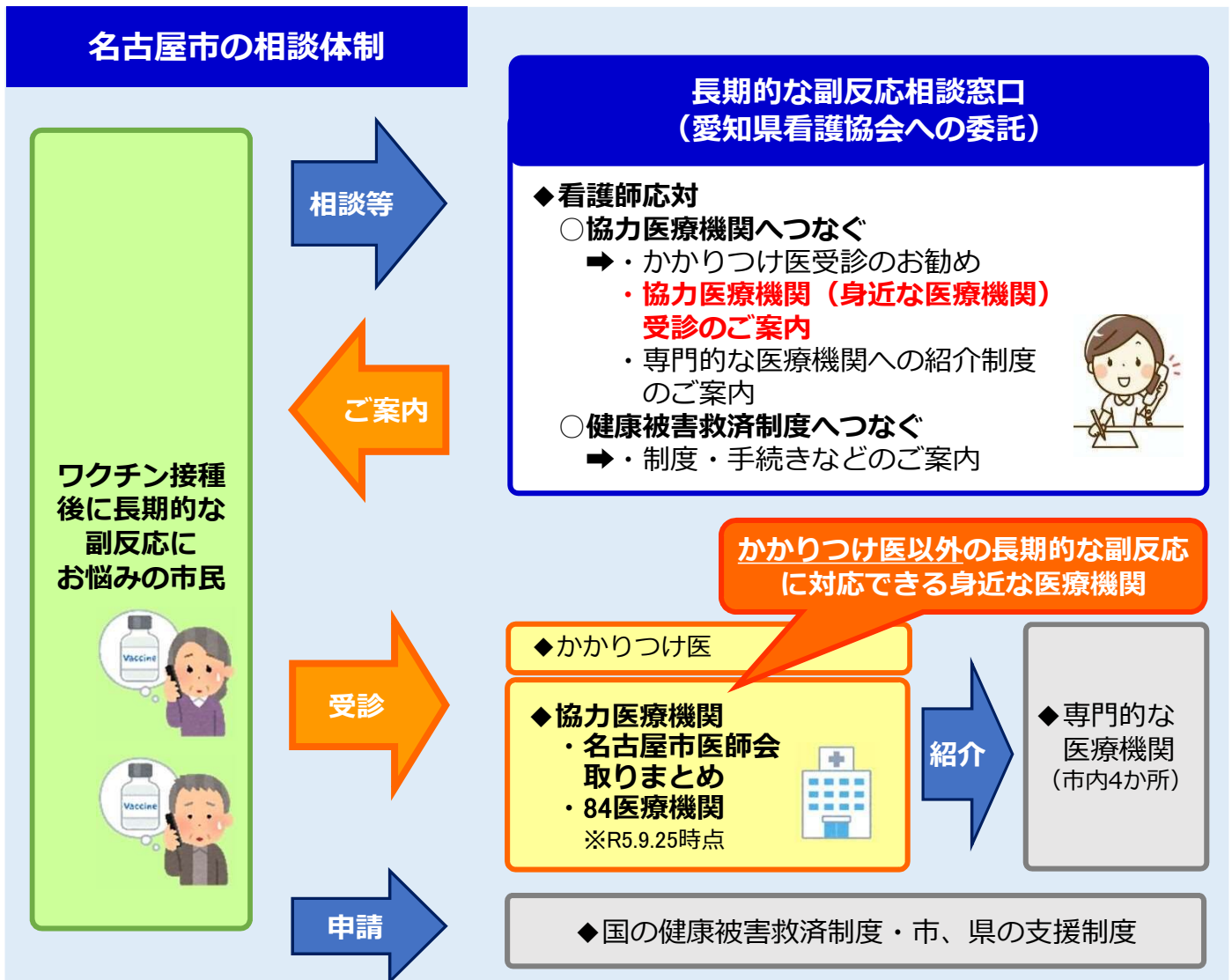
今回の症例集は、第1報から調査対象期間を延ばし、症例の追加を行いました。新型コロナウイルスワクチンの長期的な副反応と思われる症状で受診された方の症例の臨床経過と治療の状況を掲載しましたので、臨床の場における治療の参考としていただけると幸いです。

この症例集が診療の一助となり、少しでも多くの方が笑顔になっていただけることを願っております。

名古屋市医師会 理事
竹中 基晃

2 名古屋市における長期的な副反応相談体制の概要

新型コロナウイルスワクチン接種後の長期的な副反応と思われる症状で悩む市民に対して、令和4年3月25日に専用の電話相談窓口を開設し、協力医療機関及び予防接種健康被害救済制度を案内している。（相談実績の詳細は資料1を参照。）



3 調査の概要

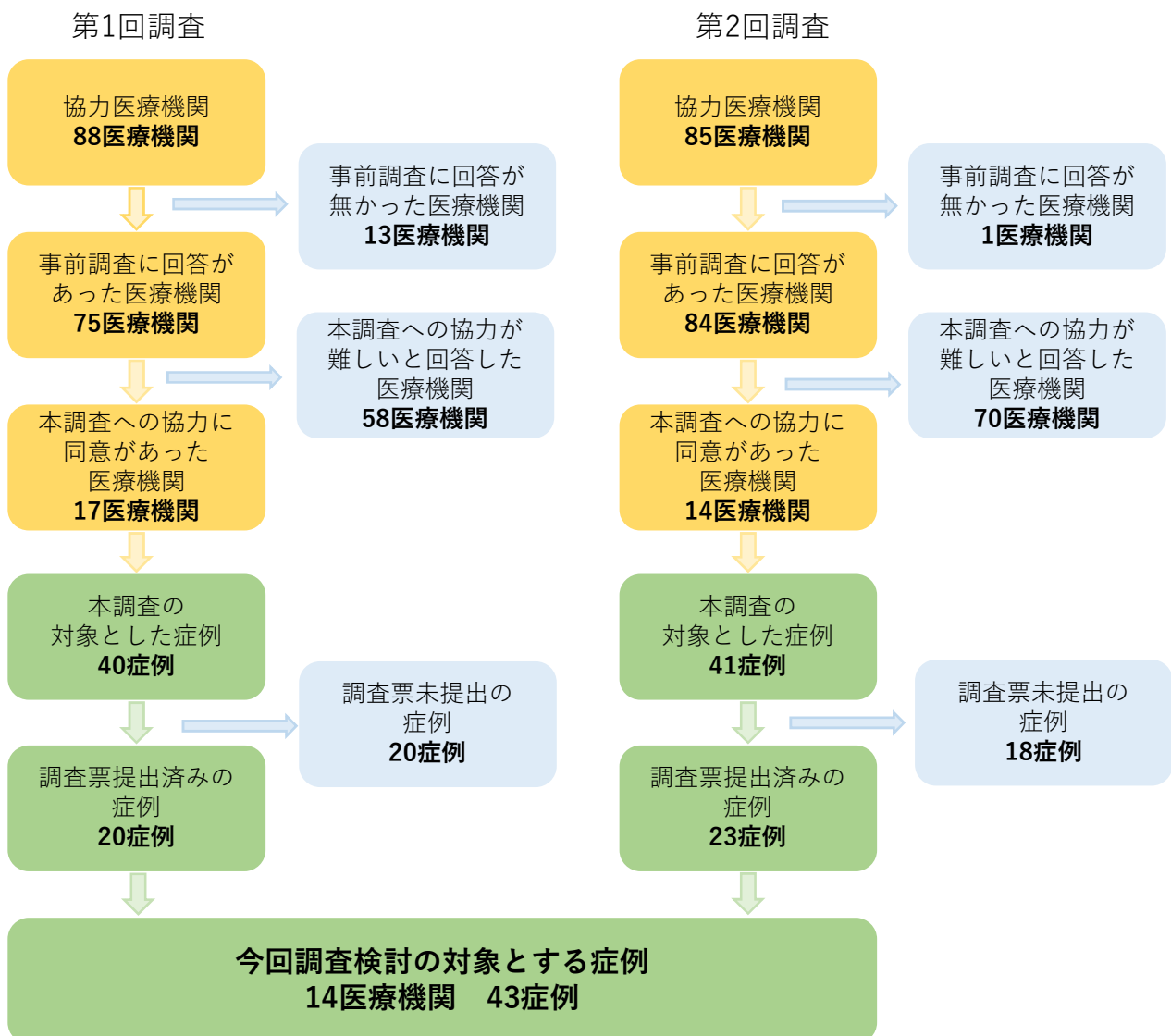
(1) 調査の経緯

第1回調査においては、長期的な副反応相談窓口が開設された令和4年3月25日から6月30日までを対象とし、20症例を収集し、分析した。令和5年3月27日にはその内容を症例集の第1報として公表し、4月20日に河村たかし市長が本田顕子厚生労働大臣政務官に提出した。

第2回調査においては、令和4年7月1日から令和5年3月31日を対象とし、新たに23症例を収集した。また、第1報で収集した症例の一部については追跡調査も行った。

本症例集（第2報）は、2回の調査で得られた43症例を分析し、その結果を取りまとめたものである。

(2) 調査の流れ



(3) 事前調査

本調査の前に調査方法や対象等について検討するため、長期的な副反応と思われる症状で受診した患者数や現状などについて協力医療機関にアンケート調査を実施した。

表1 事前調査における協力医療機関への患者の受診状況

| 区分 | 第1回 | 第2回 |
|---------------------------------------|---------------------|------------------------|
| 調査対象期間 | 令和4年3月25日～ 6月30日 | 令和4年7月1日～ 令和5年3月31日 |
| 対象医療機関 | 88 | 85 |
| 回答数（回答率） | 75（85%） | 84（99%） |
| 実際に患者が受診した医療機関 | 47 | 30 |
| うち「相談窓口から案内を受けた」と 確認できた患者が受診した医療機関 | 29 | 11 |

表2 事前調査における患者数とその現状

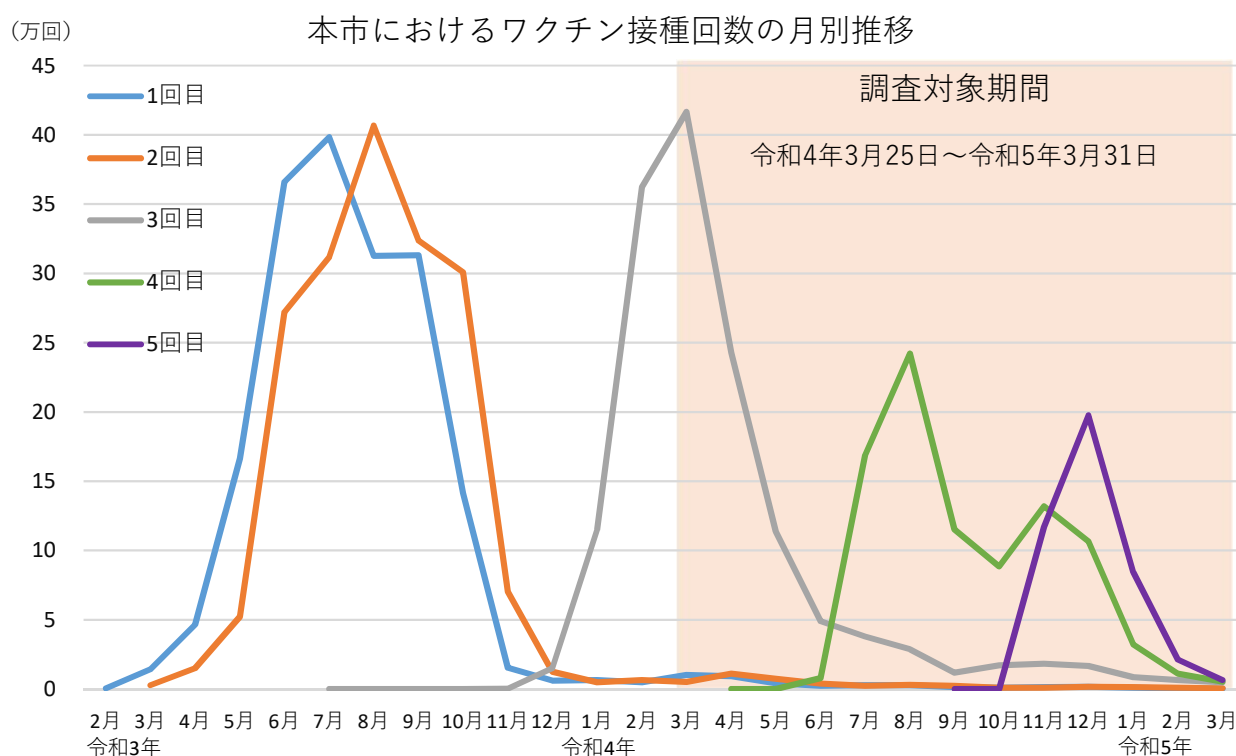
| | 第1回 | 第2回 | 計 | |
|--------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|---------|
| 調査対象期間 | 令和4年3月25日～ 6月30日 | 令和4年7月1日～ 令和5年3月31日 | 令和4年3月25日～ 令和5年3月31日 | |
| 長期的な副反応を訴える患者（回答率） | 173（100%） | 131（100%） | 304（100%） | |
| 患者の 現状 | 治療が継続している | 29（17%） | 5（4%） | 34（11%） |
| | 治療が終了した（治癒した） | 30（17%） | 62（47%） | 92（30%） |
| | 県が設置している 専門医療機関を紹介 | 38（22%） | 20（15%） | 58（19%） |
| | 他の医療機関を紹介 | 16（9%） | 22（17%） | 38（13%） |
| | 治療中だが来院しなくなった | 29（17%） | 11（8%） | 40（13%） |
| | その他 | 8（5%） | 4（3%） | 12（4%） |
| | 無回答 | 23（13%） | 7（5%） | 30（10%） |

(4) 本調査

事前調査において、「調査に協力する」と回答した協力医療機関に個別の症例に関する調査票*1の提出を依頼した。

表3 本調査の対象となる症例数

| 区分 | 第1回 | 第2回 | 全体 |
|------------------|-----------------|--------------------|---------------------|
| 調査対象期間*2 | 令和4年3月25日～6月30日 | 令和4年7月1日～令和5年3月31日 | 令和4年3月25日～令和5年3月31日 |
| 対象医療機関 | 17 | 14 | 23*4 |
| 回答した医療機関（回答率） | 9（53%） | 7（50%） | 14*4 |
| 本調査の対象とした症例*3 | 40 | 41 | 81 |
| 調査票が提出された症例（回答率） | 20（50%） | 23（56%） | 43（53%） |



本市の新型コロナウイルスワクチン接種は令和3年2月から初回接種（1回目、2回目）が始まり、以後、3回目、4回目、5回目などの追加接種が順次実施されてきた。一方、今回の調査は令和4年3月25日以降に協力医療機関を受診した患者を対象としている。したがって、本市のワクチン接種者全体と比べて、対象者に接種回数や受診医療機関等に偏りがあることに留意する必要がある。

(5) 追跡調査

第1回調査で得られた症例のうち、「改善傾向」「治療継続」と分類された症例について、対象医療機関に対し追跡調査票*1を送付し、回答を得た。

表4 追跡調査の対象となる症例数

| 区分 | 第1報の追跡 |
|--------------|----------|
| 対象医療機関 | 5 |
| 回答した医療機関 | 5 (100%) |
| 追跡調査の対象とした症例 | 7 |
| 調査票が提出された症例 | 7 (100%) |

*1 第2回調査および追跡調査に使用した調査票を資料2として添付した。

*2 医療機関より調査票の提供があった場合は、対象期間以外の症例についても、調査検討の対象とした。

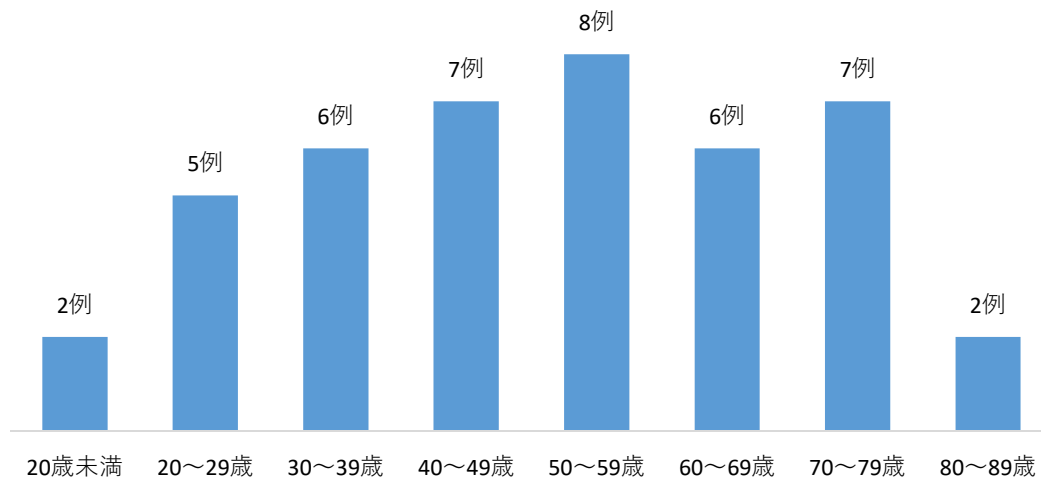
*3 医療機関の了承が得られた症例を調査検討の対象とし、調査票の提出を依頼した。

*4 第1回調査と第2回調査で医療機関の重複あり

4 症例の概要

第1回調査で得られた20症例、第2回調査で得られた23症例、合計43症例を対象として分析した。

(1) 年齢

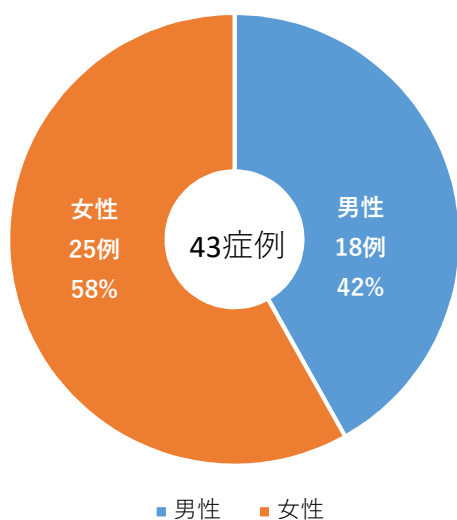


最年少：14歳 最年長：82歳

傾向：幅広い年代にわたって報告がある。分布は年代別総接種回数の分布と類似しており、特定の年代への偏りはみられない。

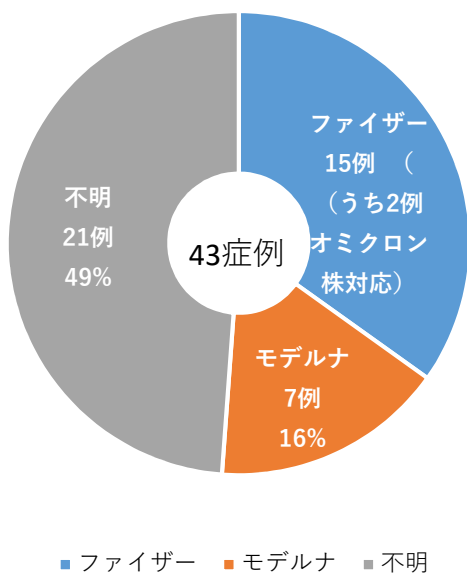
(P49 資料3 (1) 年代別総接種回数参照)

(2) 男女比



傾向：やや女性が多い。
(P50 資料3 (2) 男女比参照)

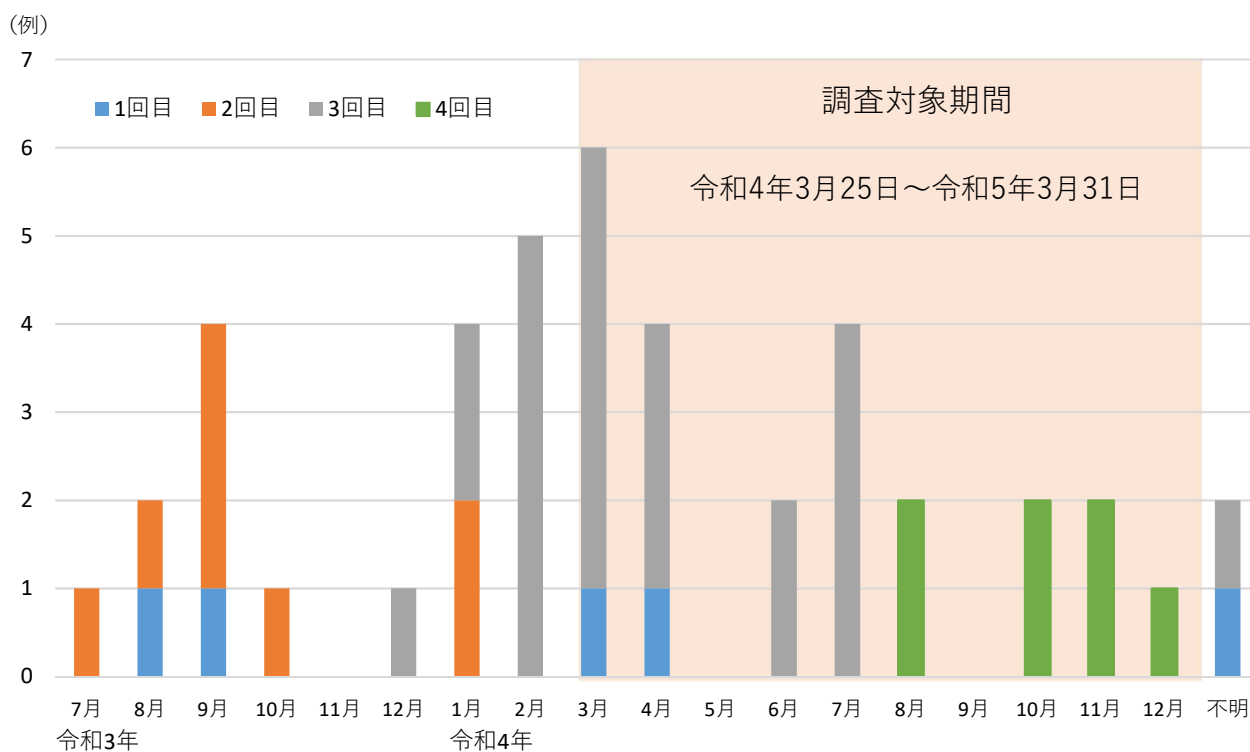
(3) 接種ワクチンの種別



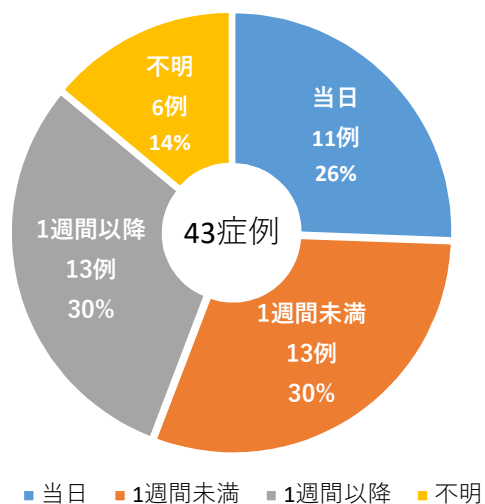
傾向：ファイザー社ワクチン接種後の症例がモデルナ社ワクチン接種後の症例より多い。また接種したワクチンの種別が不明な症例も多い。

(P51 資料3 (3) ワクチン種別参照)

(4) ワクチンの接種時期と回数



(5) 接種から発症までの期間

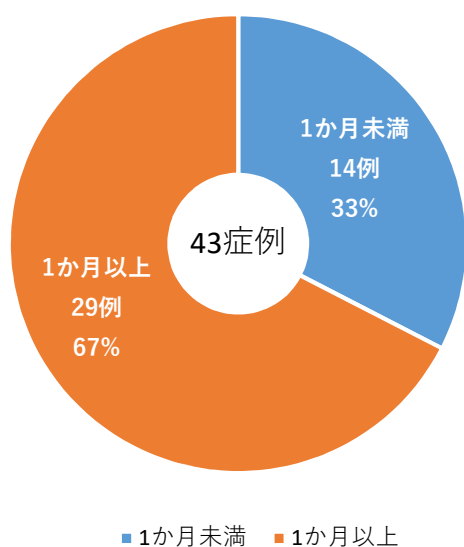


最短：当日

最長：約4か月

傾向：半数以上が接種から1週間未満で発症している。

(6) 発症から受診までの期間

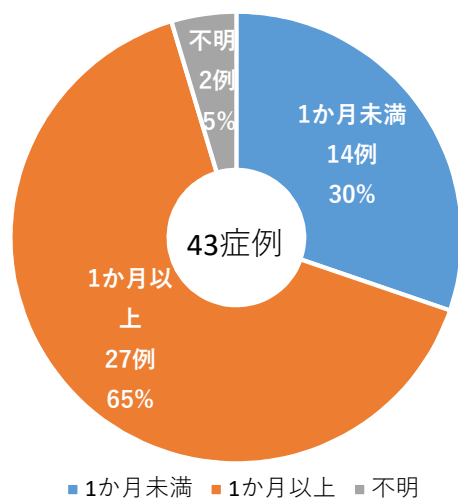


最短：1日

最長：約11か月

傾向：約3分の2が発症から受診まで1か月以上かかっている。

(7) 接種から受診までの期間

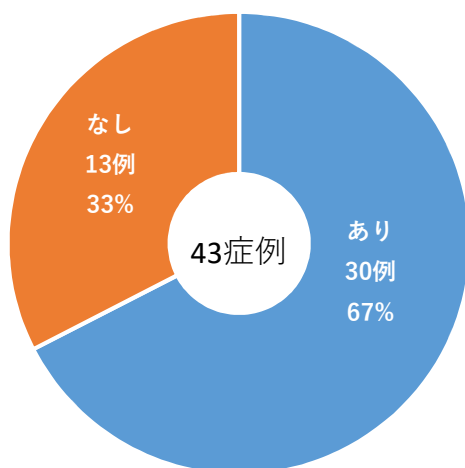


最短：3日

最長：約12か月

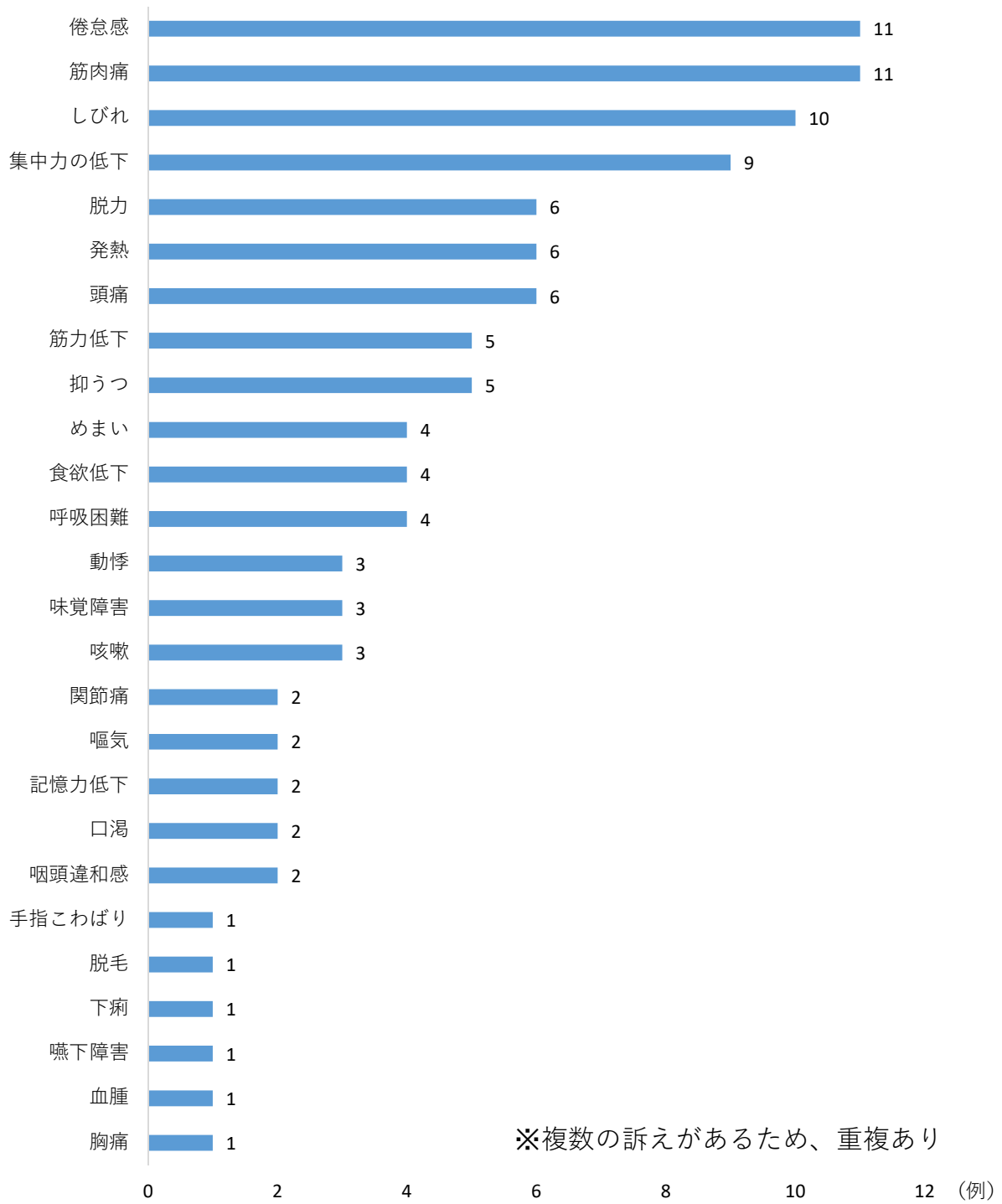
傾向：約3分の2が接種から受診まで1か月以上かかっている。

(8) 基礎疾患・既往歴

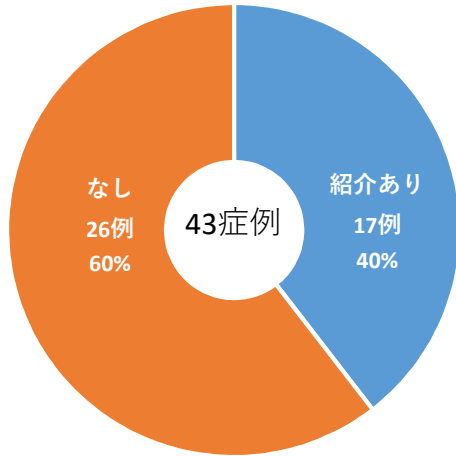


傾向：約3分の2に基礎疾患・既往歴があり、糖尿病、精神疾患、慢性の心臓病、高血圧、脂質異常症など（重複あり）が多くみられる。

(9) 主な症状



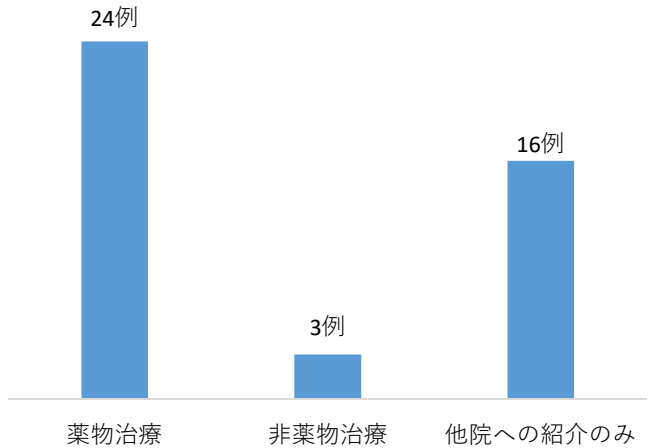
(10) 専門的な医療機関への紹介の有無



■ 専門的な医療機関を紹介 ■ なし
(県の11医療機関)

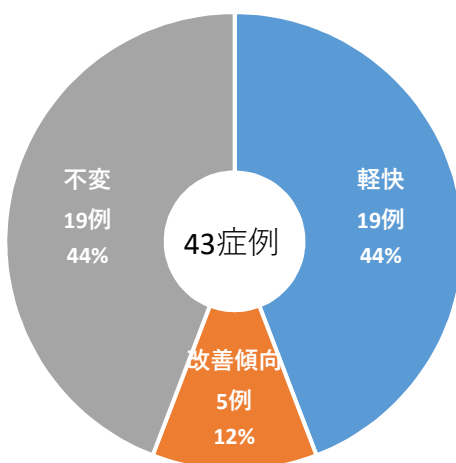
傾向：診察後、専門的な医療機関への紹介が必要となった症例が4割みられる。

(11) 治療概要



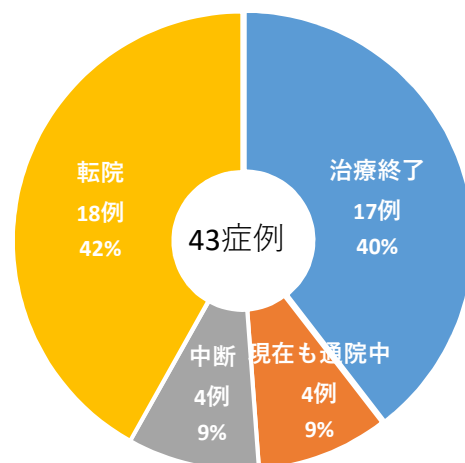
傾向：薬物治療が中心になっている。
※複合治療症例があるため、重複あり

(12) 症状の経過 (転帰)



■ 軽快 ■ 改善傾向 ■ 不変

(13) 現在の通院状況



■ 治療終了 ■ 現在も通院中 ■ 中断 ■ 転院

※本症例集においては以下のように定義する
 軽快：明らかに症状が改善した状態
 改善傾向：初診時と比較して症状は改善しているものの、まだ不調が残存している状態
 不変：初診時から症状の変化が見られない状態

5 症例サマリー

症例1～20は第1回調査の症例。ただし、*は今回追跡調査行い、変更があった部分を青字で示す。症例21～43は第2回調査で新たに調査票で回答を得られたもの。

| 症例 | 性別 | 年代 | ワクチン | 接種回数 | 基礎疾患・既往歴 | 主な症状 | 治療法 | 転帰 通院状況 |
|-----|----|----|------|------|-------------------------|--|---|-------------|
| 1 | 女 | 60 | 従来 | 2 | 高コレステロール血症 | しびれ | 専門的な医療機関を紹介（総合内科） | 改善傾向 転院 |
| 2* | 男 | 50 | 従来 | 3 | 慢性硬膜下血腫 | 倦怠感、めまい、 集中力の低下 | 薬物治療（人參養栄湯、補中益気湯） ⇒追跡時、薬物治療（人參養栄湯、補中益気湯） | 改善傾向 通院中 |
| 3* | 女 | 20 | 従来 | 3 | — | 微熱、倦怠感、抑うつ | 薬物治療（大柴胡湯、ロフラゼブ酸エチル） ⇒追跡時、薬物治療（人參養栄湯、補中益気湯） | 軽快 治療終了 |
| 4 | 男 | 50 | 従来 | 3 | 高血圧症、脂質代謝異常、 陳旧性心筋梗塞 | 関節痛、左上腕の痛み、 左上肢挙上困難 | 薬物治療（アセトアミノフェン）、 専門的な医療機関を紹介（総合内科） | 不変 転院 |
| 5 | 女 | 60 | 従来 | 3 | 糖尿病、高血圧症、 心臓病、肥満 | 味覚障害、左顔面しびれ、 嚥下障害 | 薬物治療（人參養栄湯、ポラプレジック）、 B-spot療法、食事と運動等指導 | 不変 中断 |
| 6 | 女 | 50 | 従来 | 3 | 子宮筋腫 | 味覚障害、咽頭違和感、 口渇 | 薬物治療（人參養栄湯、ポラプレジック、 トラネキサム酸）、B-spot療法 | 軽快 治療終了 |
| 7 | 女 | 80 | 従来 | 3 | 慢性の心臓病、 高血圧症 | めまい | 薬物治療（ベタヒスチン、メコバラミン、 アデノシン三リン酸、人參養栄湯）、 運動療法 | 軽快 治療終了 |
| 8 | 女 | 40 | 従来 | 3 | 高血圧症 | 味覚障害 | 薬物治療（ポラプレジック、 デキサメタゾン口腔軟膏） | 軽快 治療終了 |
| 9* | 女 | 40 | 従来 | 3 | 子宮筋腫、EBウイルス 感染後急性肝炎 | しびれ、発熱、手足違和感、 手指こわばり | 経過観察、リハビリテーション ⇒追跡時、薬物治療（メコバラミン） | 改善傾向 中断 |
| 10 | 女 | 40 | 従来 | 2 | 喘息、心療内科通院中 | 頭痛、めまい、右手のしびれと 痛み、後頭部圧迫感 | 薬物治療（トフィンパム、セルトラリン）、 主治医（心療内科）へ引継ぎ | 改善傾向 転院 |
| 11* | 男 | 20 | 従来 | 3 | 不安抑うつ混合性障害 | 集中力の低下、抑うつ、 緊張感、不安感、動悸、 早朝覚醒 ⇒追跡時、倦怠感 | 薬物治療（アルプラゾラム、 ドスレピン、レンボレキサント、 加味帰脾湯、クロチアゼパム頓服） ⇒追跡時、薬物治療（アルプラゾラム、 ラフチジン、ドスレピン、 加味帰脾湯、ドチヌラド、 レンボレキサント、人參養栄湯） | 軽快 通院中 |
| 12* | 男 | 10 | 従来 | 2 | うつ状態 | 頭痛、集中力の低下、 抑うつ、咽喉頭異常感 | 薬物治療（オキサゾラム、 エシタロプラム、ペマフィブラート、 ドチヌラド） ⇒追跡時、薬物治療（エシタロプラム、 人參養栄湯） | 軽快 通院中 |
| 13 | 女 | 50 | 従来 | 1 | — | 呼吸困難、胸痛、頭痛、 発熱、食欲不振、 体重減少 | 経過観察、専門的な医療機関を紹介（ 呼吸器科、循環器科）、点滴 | 不変 転院 |

| 症例 | 性別 | 年代 | ワクチン | 接種回数 | 基礎疾患・既往歴 | 主な症状 | 治療法 | 転帰 通院状況 |
|-----|----|----|------|------|----------------------------|---|---|------------|
| 14 | 男 | 30 | 従来 | 3 | — | 呼吸困難、関節痛、筋肉痛、倦怠感、脱力、しびれ、発熱、記憶力低下 | 経過観察、専門的な医療機関にて検査異常なし、他院（耳鼻科）で処置と内服あり | 不変 転院 |
| 15* | 女 | 20 | 従来 | 3 | — | 呼吸困難、筋肉痛、頭痛、下痢、倦怠感、脱力、しびれ、発熱、抑うつ、嘔気、手足の筋力低下、食欲低下 →追跡時、筋肉痛、嘔気、食欲低下、筋力低下 | 経過観察、薬物治療（補中益気湯、メコパラミン） →追跡時、経過観察 | 不変 治療終了 |
| 16 | 男 | 10 | 従来 | 2 | — | 手足のしびれ | 経過観察、専門的な医療機関を紹介（痛み外来）、鍼灸院を紹介 | 不変 転院 |
| 17* | 男 | 60 | 従来 | 3 | 高尿酸血症、脂質異常症、不眠症 | 倦怠感 | 薬物治療（紫胡加竜骨牡蛎湯）、心理カウンセリング | 軽快 治療終了 |
| 18 | 男 | 70 | 従来 | 3 | 糖尿病、高血圧症、右黄斑変性症、胆石症、胆のう摘出後 | 筋肉痛、肩関節可動域制限 | 薬物治療（紫胡加竜骨牡蛎湯）、専門的な医療機関を紹介（整形外科） | 不変 転院 |
| 19 | 女 | 30 | 従来 | 2 | アトピー性皮膚炎 | 脱毛 | 専門的な医療機関を紹介（皮膚科）、他院でレーザー治療 | 不変 転院 |
| 20 | 女 | 40 | 従来 | 2 | 橋本病の疑い | 筋肉痛、倦怠感、嘔気、食欲不振、体重減少 | 専門的な医療機関を紹介（リウマチ内科、消化器内科） | 不変 転院 |
| 21 | 女 | 30 | 不明 | 4 | — | 動悸、筋肉痛、息切れ | 薬物治療（セレコキシブ、レバミピド、フルルピプロフェンテープ） | 不変 中断 |
| 22 | 男 | 40 | 従来 | 3 | 潰瘍性大腸炎 | 筋肉痛、筋力低下、肩が上がらない | 薬物治療（ロキソプロフェン、クロルフェネシン、レバミピド、フルルピプロフェンテープ）、理学療法 | 軽快 治療終了 |
| 23 | 男 | 50 | 従来 | 4 | 胃潰瘍 | 筋肉痛 | 薬物治療（ベタメタゾン懸濁注、ジブカイン塩酸塩・サリチル酸ナトリウム・臭化カルシウム注射） | 軽快 治療終了 |
| 24 | 女 | 50 | 従来 | 3 | 胃癌術後、子宮頸癌術後、骨粗鬆症 | 筋肉痛 | 薬物治療（セレコキシブ、レバミピド） | 軽快 治療終了 |
| 25 | 男 | 60 | 従来 | 4 | 慢性の肝臓病 | 血腫 | 薬物治療（ロキソプロフェン、レバミピド） | 軽快 治療終了 |
| 26 | 女 | 60 | 従来 | 4 | — | 筋肉痛 | 薬物治療（ベタメタゾン懸濁注、ジブカイン塩酸塩・サリチル酸ナトリウム・臭化カルシウム注射） | 軽快 治療終了 |
| 27 | 男 | 60 | 従来 | 2 | 慢性の心臓病 | 筋肉痛、筋肉がつる | 薬物治療（ベタメタゾン懸濁注、ジブカイン塩酸塩・サリチル酸ナトリウム・臭化カルシウム注射、クロルフェネシン、セレコキシブ、レバミピド） | 軽快 治療終了 |
| 28 | 女 | 70 | 従来 | 3 | 慢性の心臓病、糖尿病 | 筋肉痛 | 薬物治療（ベタメタゾン懸濁注、ジブカイン塩酸塩・サリチル酸ナトリウム・臭化カルシウム注射） | 軽快 治療終了 |

| 症例 | 性別 | 年代 | ワクチン | 接種回数 | 基礎疾患・既往歴 | 主な症状 | 治療法 | 転帰 通院状況 |
|----|----|----|-------|------|----------------------------|-------------------------|-----------------------------------|------------|
| 29 | 男 | 40 | オミクロン | 4 | うつ | 口の渇き | 薬物治療（人参養栄湯、ポラプレジック）、その他（B-spot療法） | 軽快 治療終了 |
| 30 | 男 | 20 | 従来 | 3 | — | 集中力の低下、倦怠感 | 専門的な医療機関を紹介 | 不変 転院 |
| 31 | 女 | 70 | 従来 | 3 | 慢性の呼吸器疾患 | 動悸、集中力の低下、しびれ | 専門的な医療機関を紹介 | 不変 転院 |
| 32 | 女 | 70 | オミクロン | 4 | 子宮内膜症、糖尿病、慢性の心臓病（高血圧を含む） | 集中力の低下、頭痛、脱力 | 専門的な医療機関を紹介 | 不変 転院 |
| 33 | 男 | 30 | 従来 | 3 | 不安障害 | しびれ、倦怠感、微熱、集中力の低下、記憶力低下 | 専門的な医療機関を紹介 | 改善傾向 転院 |
| 34 | 女 | 50 | 従来 | 3 | 高脂血症 | 脱力、筋力低下、しびれ | 専門的な医療機関を紹介、左足不随意運動と診断され、精密検査中 | 不変 転院 |
| 35 | 女 | 30 | 従来 | 1 | — | 頭痛、顎疼痛 | 専門的な医療機関を紹介（脳神経内科）、精密検査中 | 不変 転院 |
| 36 | 女 | 30 | 従来 | 3 | けいれん性発声障害、アトピー性皮膚炎 | 咳嗽、脱力 | 専門的な医療機関を紹介 | 不変 転院 |
| 37 | 女 | 70 | 従来 | 4 | — | 脱力、呼吸困難 | 専門的な医療機関を紹介 | 軽快 転院 |
| 38 | 男 | 70 | 従来 | 2 | — | 食欲低下 | その他の医療機関を紹介 | 不変 転院 |
| 39 | 女 | 20 | 従来 | 1 | — | 咳嗽、抑うつ、倦怠感 | 薬物治療（ロフラゼブ酸エチル、漢方薬） | 軽快 治療終了 |
| 40 | 女 | 40 | 従来 | 1 | — | 咳嗽、めまい、集中力の低下 | 薬物治療（人参養栄湯、補中益気湯） | 軽快 治療終了 |
| 41 | 男 | 50 | 従来 | 1 | 慢性硬膜下血腫 | 集中力の低下、倦怠感 | 薬物治療（漢方薬） | 不変 通院中 |
| 42 | 男 | 80 | 従来 | 3 | 慢性の心臓病（高血圧を含む）、糖尿病、脳梗塞、脳出血 | 筋力低下、左手のしこり | かかりつけ医（整形外科）へ引継ぎ | 不変 中断 |
| 43 | 女 | 70 | 従来 | 3 | — | 倦怠感、筋力低下 | 薬物治療（人参養栄湯） | 軽快 治療終了 |

6 症例の調査検討

(1) 全体の傾向

最も多い症状は倦怠感（11例）と筋肉痛（11例）であり、他にもしびれ、集中力の低下、脱力、頭痛、筋力低下などが多くみられた。そのほか、発熱、めまい、食欲低下をはじめ、様々な症状がみられた。

治療は薬物治療が主であり、内科的症状に対しては漢方薬を中心に投与される例が多く、運動器症状に対しては消炎鎮痛剤の投与が多くみられた。

(2) 症状別の傾向と選択された治療法

倦怠感 11例（症例 2,3,11,14,17,20,30,33,39,41,43）

- ・ 比較的若い世代での訴えが多く、3例（症例 3,11,39）は抑うつを伴っていた。
- ・ 倦怠感を訴える例には漢方薬（人参養栄湯、補中益気湯、大柴胡湯、加味帰脾湯、柴胡加竜骨牡蛎湯等）の投与が行われることが多かった。（症例 2,3,11,17,39,41,43）
- ・ 軽快した4例中、2例（症例 3,39）は精神安定剤と漢方薬（大柴胡湯等）が、2例（症例 17,43）は漢方薬（人参養栄湯、柴胡加竜骨牡蛎湯）が投与されていた。
- ・ 1例（症例 14）は、症状出現から1か月経過しても労作時の倦怠感、記憶力の低下が続いており、専門的な医療機関へ転院となった。

筋肉痛 11例（症例 14,15,18,20,21,22,23,24,26,27,28）

- ・ ワクチン接種当日～1週間未満の期間に症状が出現する例が6例（症例 14,22,23,24,26,27）あった。
- ・ 2例（症例 14,18）は筋肉痛と共に関節痛が出現していた。うち1例（症例 18）は、鎮痛剤と柴胡加竜骨牡蛎湯を使用するが改善傾向みられず、専門的な医療機関へ転院となり、左肩関節拘縮の疑いで精査予定となった。
- ・ 7例（症例 21,22,23,24,26,27,28）は同一の整形外科から調査票が提出されており、そのうちエコー下で接種部位に炎症が確認できた4例（症例 23,26,27,28）は、同部位にステロイドと局所麻酔薬を注入し、軽快した。また、1例（症例 22）は消炎鎮痛剤の投与と理学療法の併用、もう1例（症例 24）は消炎鎮痛剤の投与のみで改善がみられた。

しびれ 10例（症例 1,5,9,10,14,15,16,31,33,34）

- ・ 漢方薬（補中益気湯、人参養栄湯）、ビタミンB12等が投与された例が多かった。
- ・ 患者側で治療を中断する例もみられた。
- ・ 改善傾向は4例（症例 1,9,10,33）みられた。
- ・ 5例（症例 14,16,31,33,34）は専門的な医療機関へ転院となった。

集中力の低下 9例 (症例 2,11,12,30,31,32,33,40,41)

- ・全例で集中力の低下だけでなく倦怠感、抑うつ、動悸、しびれなど様々な症状を併発していた。
- ・2例(症例 11,12)は既往に精神疾患があった。抗うつ薬、抗不安薬、漢方薬(加味帰脾湯、人参養栄湯)を投与され、2例とも現在も通院中ではあるが症状は軽快した。
- ・3例は倦怠感やめまいを併発しており、漢方薬(人参養栄湯、補中益気湯等)を投与された。1例(症例 40)は軽快し、2例(症例 2,41)は現在も薬物治療を継続している。
- ・4例(症例 30,31,32,33)は、専門的な医療機関へ転院となった。

頭痛 5例 (症例 10,12,13,32,35)

- ・接種した翌日頃より症状が出現する例が多くみられた。
- ・3例(症例 13,32,35)は、専門的な医療機関へ転院となった。
- ・2例は既往歴に精神疾患があった。そのうち1例(症例 10)はワクチン接種前から自律神経調整剤、睡眠薬を内服しており、それらの薬剤を調整をすることで症状が改善した。また、もう1例(症例 12)は頭痛以外に倦怠感や抑うつ、咽頭違和感の症状があり、抗うつ薬、抗不安薬を投与された。追跡調査の結果、8か月経過して頭痛は残ってはいるものの、全身倦怠感、咽頭違和感は軽快していた。

筋力低下 5例 (症例 15,22,34,42,43)

- ・軽快となった2例のうち、1例(症例 22)は消炎鎮痛剤の投与と理学療法にて軽快、もう1例(症例 43)は漢方薬(人参養栄湯)投与にて軽快した。
- ・1例(症例 42)は、8か月以上症状が継続しているため専門的な医療機関を勧めた。
- ・1例(症例 15)は、20歳代で手足の力が入らず、歩行障害、意識消失、嘔気、呼吸困難等様々な症状も見られ、専門医から体位性頻脈症候群と診断された。補中益気湯とビタミンB12を投与され、6か月後には手足のしびれや脱力感は改善傾向となったが、そのほかの症状は不変であった。

めまい 4例 (症例 2,7,10,40)

- ・3例は抗めまい剤、ビタミンB12、漢方薬(人参養栄湯、補中益気湯)を投与された。うち2例(症例 7,40)は軽快となり、1例(症例 2)は1年以上投与され改善傾向である。
- ・1例(症例 10)は既往に精神疾患あり、自律神経調整剤の投与にて改善傾向となった。

食欲低下 4例（症例 13,15,20,38）

- ・1例（症例 20）は、背部痛、嘔気、嘔吐の症状もみられた。心身症も考えられ、心療内科と専門的な医療機関へ紹介となった。
- ・1例（症例 38）は、高齢であり、ホルモン検査、上部消化管検査で異常なく、地域包括ケア病棟に転院となった。

呼吸困難 4例（症例 13,14,15,37）

- ・発熱、しびれなど幅広い症状を併発する例が多かった。
- ・3例は経過観察がなされ、うち2例（症例 13,14）は専門的な医療機関に紹介された。1例（症例 15）には漢方薬（補中益気湯）とビタミンB12が投与されており、追跡調査では呼吸困難の症状がみられなくなったことが確認できた。
- ・1例（症例 37）は、ギランバレー症候群疑いで専門的な医療機関に入院し、軽快退院した。

(3) 追跡調査

- ・7例中4例（症例 3,11,12,17）が軽快し、2例（症例 2,9）は第1報に引き続き改善傾向であった。軽快したうちの2例は（症例 3,17）は治療も終了した。また、2例（症例 11,12）はもともとの主訴に精神症状があり、症状は軽快したものの通院し、薬物治療を継続中である。
- ・1例（症例 15）は第1報時点で症状の改善がみられず、通院を続けていたが、第2報時点では一部の症状のみの改善で治療終了となっている。

(4) 考察

・今回（第1回と第2回調査を合わせた対象）の分析において、ワクチン接種後の筋肉痛やしびれ、倦怠感、発熱、頭痛、精神・神経症状など、幅広い症状が報告された。全身倦怠感は若い世代で多く、運動器症状や耳鼻科症状は比較的高い年代層でもみられた。

・第1回調査では、軽快が3例（15%）、改善傾向が5例（25%）であったが、今回の分析では、追跡調査の結果も含め、軽快が19例（44%）、改善傾向が5例（12%）と合わせて半数以上が快方へ向かっていることが分かった。不変は19例あるが、そのうち14例は転院しており、より専門的な医療機関による治療を受けたと考えられる。

・今回観察された多くの症状は、新型コロナウイルスワクチン開発時の臨床試験において副反応として報告されたもの*5と一致しており、また、代表的な新型コロナウイルス罹患後症状*6,7として報告されたものとも類似していた。

・近年、特定のワクチンに限らず、予防接種という行為そのものにより誘発されるストレス反応（予防接種ストレス関連反応、ISRR）が、様々な症状を引き起こすことが知られるようになった。ISRRには、接種直前後に起きる血管迷走神経反射などの急性反応から、数日後に起きる遅発性の神経症状まであり、今回の症例の中にもISRRに該当するものが一部含まれていると考えられる。WHOの対応マニュアル*8によれば、ISRRは生物学的要因に加え、心理・社会的要因が複合的に作用して生じると考えられ、症状に応じた丁寧な対応が肝要である。

・今回の報告症例では、新型コロナウイルスワクチン接種後に生じた多様な症状に合わせ、薬物治療を中心に様々な治療法が試みられており、特定の治療法の有効性を示唆する結果にはならなかった。

- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント（第2.0版）」*7では、罹患後症状の発現には複合的な要因が関与しており、全人的なアプローチが重要であるとしている。同手引きでは、症状に応じた具体的な対応方法を紹介しており、ワクチン接種後の症状の治療選択に迷った際にも参考となると考えられる。例えば神経症状を訴える患者に対しては、身体所見や検査結果に異常がないという理由で診療を打ち切らず、生活に対するアドバイス、リハビリテーションを含む対症療法や心理的サポートを考慮し、症状の悪化が見られる場合など、必要に応じて専門医への紹介を勧めている。

- ・長期的な副反応に関する調査を実施している自治体は、現段階では本市の他に把握出来なかったため、調査結果の比較検討はできなかった。

- ・本市の相談窓口では、新型コロナウイルスワクチン接種後の長期的な副反応に関する相談に応じ、治療が必要と考えられる方を協力医療機関に案内し、実際に受診されていることが確認できた。本市の相談窓口が、引き続き、新型コロナウイルスワクチン接種後の長期的な副反応と思われる症状にお困りの方が治療につながるよう、大切な役割を果たしていくことを期待する。

- *5 一般社団法人日本ワクチン産業協会：予防接種に関するQ&A集 2022. (表5～8)
http://www.wakutin.or.jp/medical/pdf/qa_2022.pdf
- *6 新型コロナウイルス罹患後症状 (表9)
COVID-19 罹患後に、感染性は消失したにもかかわらず、他に明らかな原因がなく、急性期から持続する症状や、あるいは経過の途中から新たに、または再び生じて持続する症状全般*7
- *7 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント第2.0版. <https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>
- *8 WHO：予防接種ストレス関連反応 (ISRR) 予防接種プログラム責任者及び医療関係者のための予防接種ストレス関連反応 (ISRR) の予防、発見及び対応の実施マニュアル.
<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/330277/9789241515948-jpn.pdf>

表5 ファイザー社製ワクチンの臨床試験における副反応

| | 5%以上 | 1%～5%未満 | 1%未満 | 頻度不明 |
|----------------|-------------------------------------|---------|------------------------|--------------------------------------|
| 局所症状 (注射部位) | 疼痛 (85.6%)、 腫脹 (10.3%)、発赤・紅斑 | | そう痒感、熱感、内出血、浮腫 | |
| 精神神経系 | 頭痛 (59.4%) | | 浮遊性めまい、嗜眠、 不眠症、顔面麻痺 | |
| 消化器 | 下痢 (14.8%) | 嘔吐 | 悪心、食欲減退 | |
| 呼吸器 | | | 口腔咽頭痛、鼻閉 | |
| 筋・骨格系 | 筋肉痛 (38.8%) 関節痛 (23.0%) | | 四肢痛、背部痛 | |
| 皮膚 | | | 多汗症、発疹、寝汗 | |
| 血液 | | | リンパ節炎 | |
| 免疫系 | | | | 過敏症 (発疹、そう痒症、紅斑、 蕁麻疹、血管性浮腫、顔面腫脹等) |
| その他 | 疲労 (66.0%)、悪寒 (36.0%)、発熱 (16.8%) | 疼痛 | 倦怠感、無力症 インフルエンザ様症状 | |

「コミナティ筋注、コミナティ筋注5～11歳用 適正使用ガイド」独立行政法人医薬品医療機関総合機構
<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/631341D> 2023年8月現在

表6 モデルナ社製ワクチンの臨床試験における副反応

| | 1%以上 | 1%未満 | 頻度不明 |
|----------------|--|--------------|-------------|
| 局所症状 (注射部位) | 疼痛 (92.6%)、腫脹・硬結 (16.5%)、 発赤・紅斑 (12.2%) 遅延性反応 (疼痛、腫脹、紅斑など) 発赤、腫脹 | そう痒感 じん麻疹 | |
| 精神神経系 | 頭痛 (66.4%) | | 急性末梢性顔面神経麻痺 |
| 消化器 | 悪心、嘔吐 (23.6%) | | |
| 筋・骨格系 | 筋肉痛 (60.4%)、関節痛 (44.6%) | | |
| 皮膚 | | 発疹 | |
| 血液 | リンパ節症 (21.9%) | | |
| その他 | 疲労 (70.6%)、悪寒 (45.9%) 発熱 (15.4%) | | 顔面腫脹 |

「スパイクバック筋注 適正使用ガイド」独立行政法人医薬品医療機関総合機構
<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/631341E> 2022年8月現在

表7 アストラゼネカ社製ワクチンの臨床試験における副反応

| | 5%以上 | 1%～5%未満 | 1%未満 | 頻度不明 |
|----------------|--|------------------------------|------------------------------|-------|
| 血液 | | | リンパ節炎 | 血小板減少 |
| 精神神経系 | 頭痛 (51.1%) | | 浮遊性めまい、傾眠 | |
| 消化器 | 悪心 (20.5%) | 嘔吐 | 下肢、腹痛 | |
| 皮膚 | | | 多汗症、そう痒感 発疹、じん麻疹 (0.1%未満) | |
| 筋・骨格系 | 筋肉痛 (43.5%)、関節痛 (26.6%) | 四肢痛 | | |
| 局所症状 (注射部位) | 注射部位圧痛 (62.6%) 注射部位疼痛 (54.7%) 注射部位熱感 (17.9%) 注射 部位挫傷 (17.9%) 注射部位そう痒感 (13.1%) | 注射部位腫脹、 注射部位発赤、 注射部位硬結 | | |
| 全身症状 | 疲労 (51.6%)、倦怠感 (43.8%)、発 熱感 (33.5%)、悪寒 (31.0%)、発熱 | 無力症 | インフルエンザ様症状 | 血管性浮腫 |

「パキセブリア筋注 添付文書」2022年4月改訂 (第5版)

表8 ノババックス社製ワクチンの臨床試験における副反応

| | 10%以上 | 1%～10%未満 | 1%未満 |
|----------------|-------------------------|-------------|-----------------|
| 局所症状 (注射部位) | 圧痛 (75.1%)、疼痛62.5%) | 発赤・紅斑、腫脹、硬結 | そう痒症 |
| 血液 | | | リンパ節炎 |
| 精神神経系 | 頭痛 (50.8%) | | |
| 消化器 | 悪心・嘔吐 (15.1%) | | |
| 皮膚 | | | 発疹、紅斑、そう痒症、じん麻疹 |
| 筋・骨格系 | 筋肉痛 (51.4%)、関節痛 (23.6%) | | |
| その他 | 疲労 (53.0%)、倦怠感 (41.1%) | 発熱、四肢痛 | 悪寒 |

「ヌバキソビッド 筋注 添付文書」2022年7月改訂 (第4版)

表9 代表的な罹患後症状

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・疲労感 ・倦怠感 ・関節痛 ・筋肉痛 ・咳 ・喀痰 ・息切れ ・胸痛 ・脱毛 ・記憶障害 ・集中力低下 ・頭痛 ・抑うつ ・味覚障害 ・動機 ・下痢 ・腹痛 ・睡眠障害 ・筋力低下 |
|--|

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント第2.0版」厚生労働省

7 おわりに

新型コロナウイルスワクチンは、予防接種法に基づく臨時の予防接種として令和3年2月に接種が開始されました。本市においては、今日までに延べ670万回を超える接種が行われ、市民の健康を守る上で大きな貢献をしたとともに、医療ひっ迫の緩和に寄与したと考えております。

しかし、新型コロナウイルスワクチンは、遺伝子工学技術を用いて新たに開発されたものであり、また、これほど短期のうちに大規模な接種が進められたことは前例がなく、安全性に対する不安の声が上がるのは無理からぬことと思います。

ワクチンは、発症予防のための免疫反応を人為的に惹き起こすための医薬品であり、接種部位の腫脹・疼痛や発熱、リンパ節腫脹などの好ましくない症状を少なからず伴います。深刻な健康障害が起きる可能性もわずかながら否定できず、接種後に生じる症状については、注意深く慎重な対応が必要です。

そこで、本市では名古屋市医師会、愛知県看護協会にご協力をいただき、令和4年3月25日に「長期的な副反応相談窓口」を開設し、受診を希望する方に、協力医療機関を案内してまいりました。

今回の症例集（第2報）には、協力医療機関を受診された方について、第1報（令和5年3月27日公表）の20症例に、新たに23症例を追加し、主な症状、治療方法、経過を収載いたしました。調査対象に限りはありますが、治療に当たられた医療機関のみならず、指針のない中で、個々の症例に合わせ様々な治療を試みておられました。確認された症状の大半は、既に主な副反応として公表されている症状と一致しており、過半数は軽快または改善傾向にありました。

また、国においても、新型コロナウイルスワクチンの接種後に生じた特定の症状（アナフィラキシーなど）やワクチン接種との関連を否定できない重篤な症状等の報

告を医師や医療機関に義務付け、データの収集・公表と専門家の検証を続けているほか*9、専門的な医療機関を対象に、「新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査」を実施し、第2報まで公表しています*10。

こうした国の取組みと、本市の症例集の取組みが両輪となって、臨床の場における治療の一助となるよう、さらに症例を追加し、検証の取組みを続けるとともに、接種後の体調不良でお悩みの方の症状が少しでも改善に向かわれることを願っております。

末筆ながら、大変ご多忙の中、調査にご協力いただきました医療機関のみなさま、名古屋市医師会、愛知県看護協会、そして症例集の作成にご尽力くださいましたみなさまに心より感謝申し上げます。

名古屋市健康福祉局 医監

小嶋 雅代

*9 厚生労働省：新型コロナワクチンの副反応疑い報告について。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_hukuhannou-utagai-houkoku.html

*10 厚生労働省：新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査について（第2報）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/001126457.pdf>

[資料1] 長期的な副反応相談窓口への相談実績

公益社団法人 愛知県看護協会

常務理事 結城 房子

(1) 経緯

新型コロナウイルスワクチン接種の普及に伴い名古屋市は、ワクチン接種後の長期的な副反応と思われる症状を訴える市民を対象に相談窓口を設置した。

その目的は、接種後2週間以上経過しても継続する副反応と思われる症状に対応する医療機関の案内や健康被害救済制度につなげることである。愛知県看護協会は、経験豊富なプラチナナース（定年退職前後の看護師）を雇用し、令和4年3月25日から相談業務を開始し、現在に至る。

今回の分析は令和4年3月25日～令和5年3月31日に相談を受けたもののうち居住地や症状の情報がとれた2,149件を対象とした。

(2) 相談件数

令和4年3月25日～令和5年3月31日の相談件数は、2,149件であった。

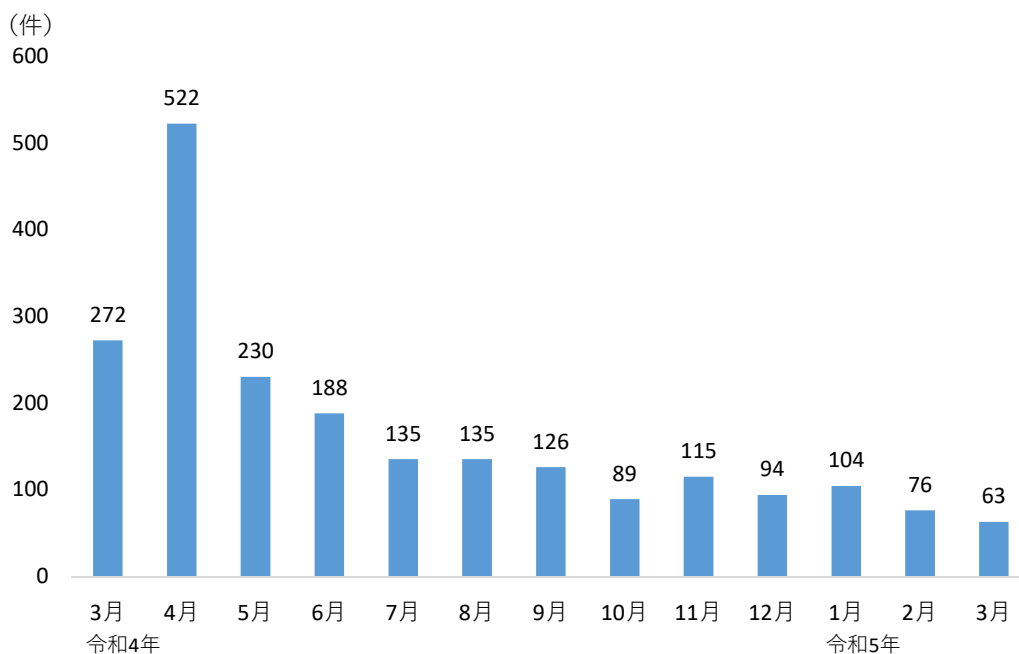


図1 月別の相談件数（n=2,149）

(3) 性別・年代

性別は男性813人（37.8%）、女性1,312人（60.1%）、不明24人（1.1%）であった。（図2）

年代は70歳代426人（19.8%）、次いで50歳代409人（19%）が多く、小児や若年者の接種も進み、20歳代80人（3.7%）、20歳未満68人（3.2%）であった。（図3）

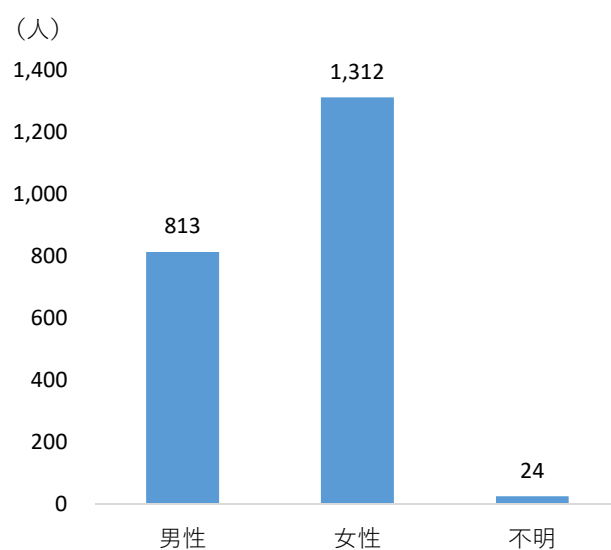


図2 性別内訳（n=2,149）

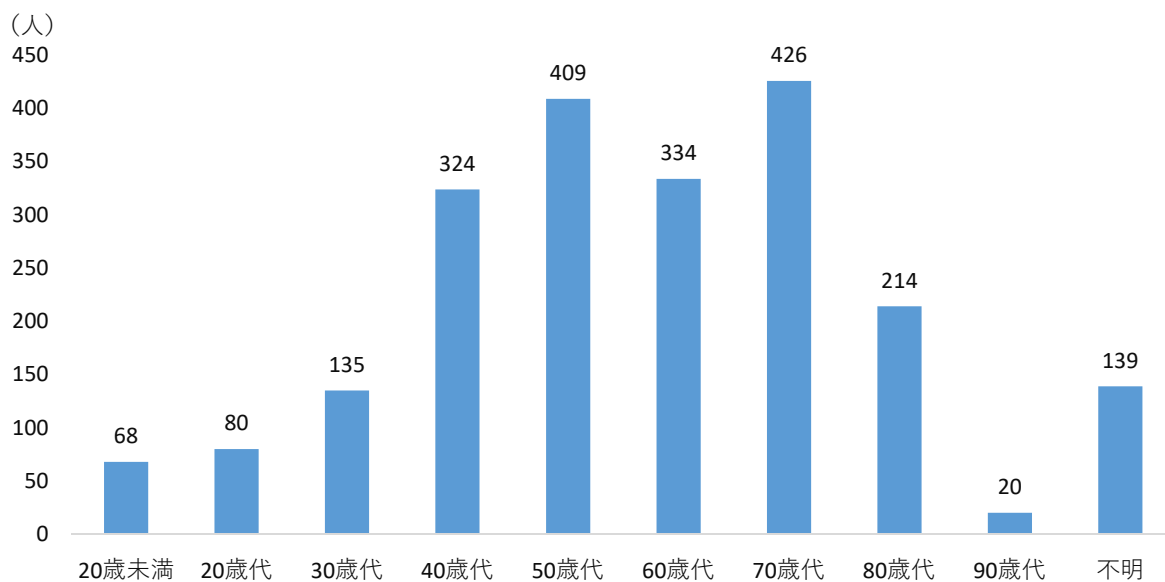


図3 年代別内訳（n=2,149）

(4) 居住地

相談者の居住地は、名古屋市内
1,511人（70.3%）、名古屋市を除
く県内255人（11.9%）、県外220
人（10.2%）であった。

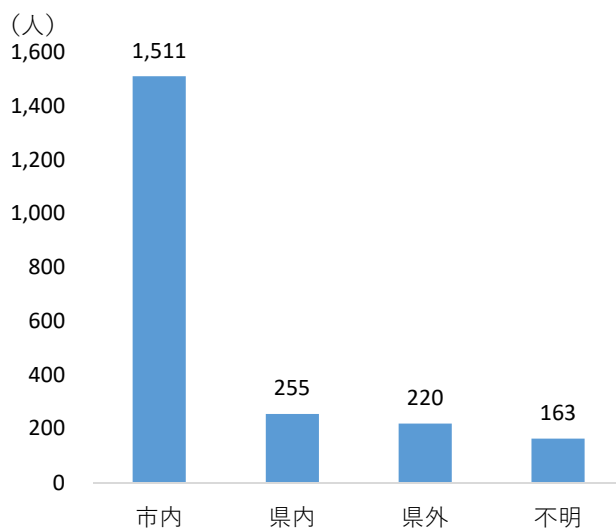


図4 居住地内訳（n=2,149）

(5) 相談内容

相談内容は、他の医療機関の受診相談が619件（28.8%）、症状についての確認・相談
が513件（23.9%）、初めての受診に関する相談が350件（16.3%）の順であった。他
に次の接種の相談や救済制度の情報が欲しい、症状（苦痛）に関する訴えがあった。

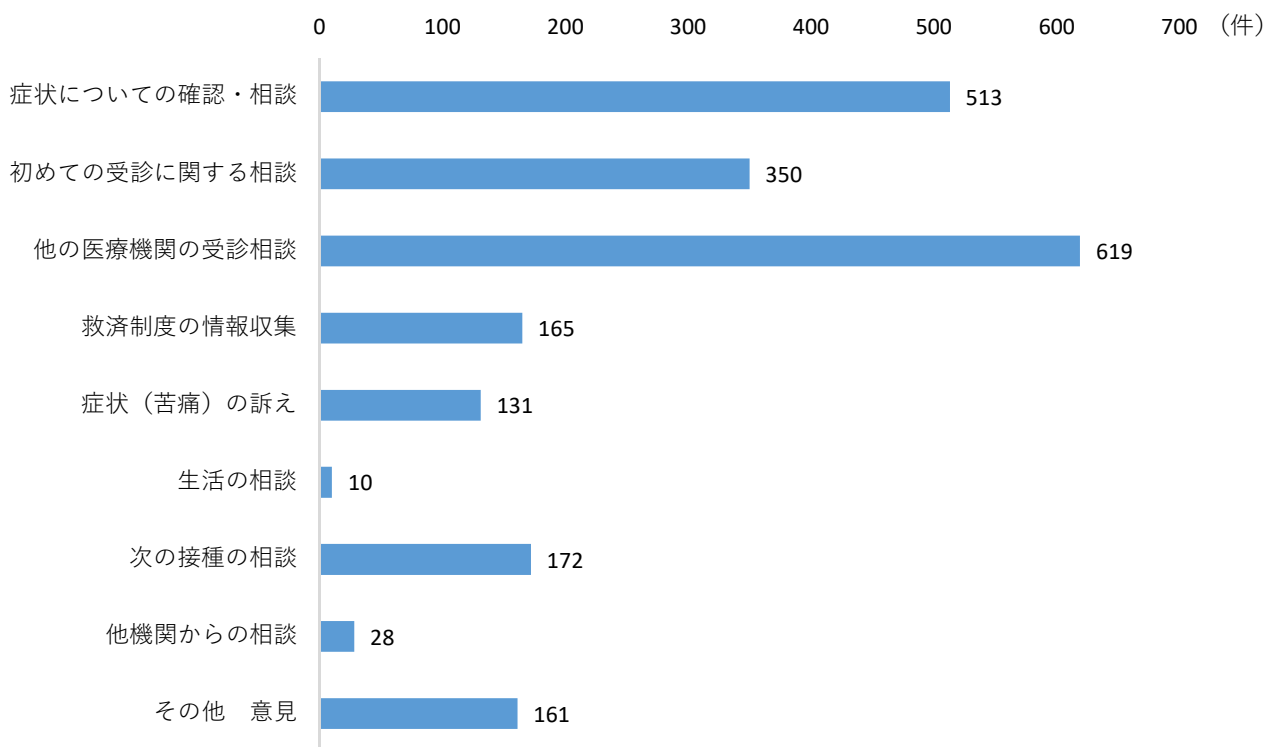


図5 相談内容内訳（n=2,149）

(6) 相談した時期

相談時期は相談者が自分の症状をワクチンの副反応ではないかと自覚したときからとして集計している。接種後6か月～1年未満の相談が463件（21.5%）であり、1か月～2か月未満が307件（14.3%）、3か月～6か月が272件（12.7%）であった。また、接種後1年以上の相談が115件（12.3%）あり、長期間副反応と思われる症状が持続している事例もあった。

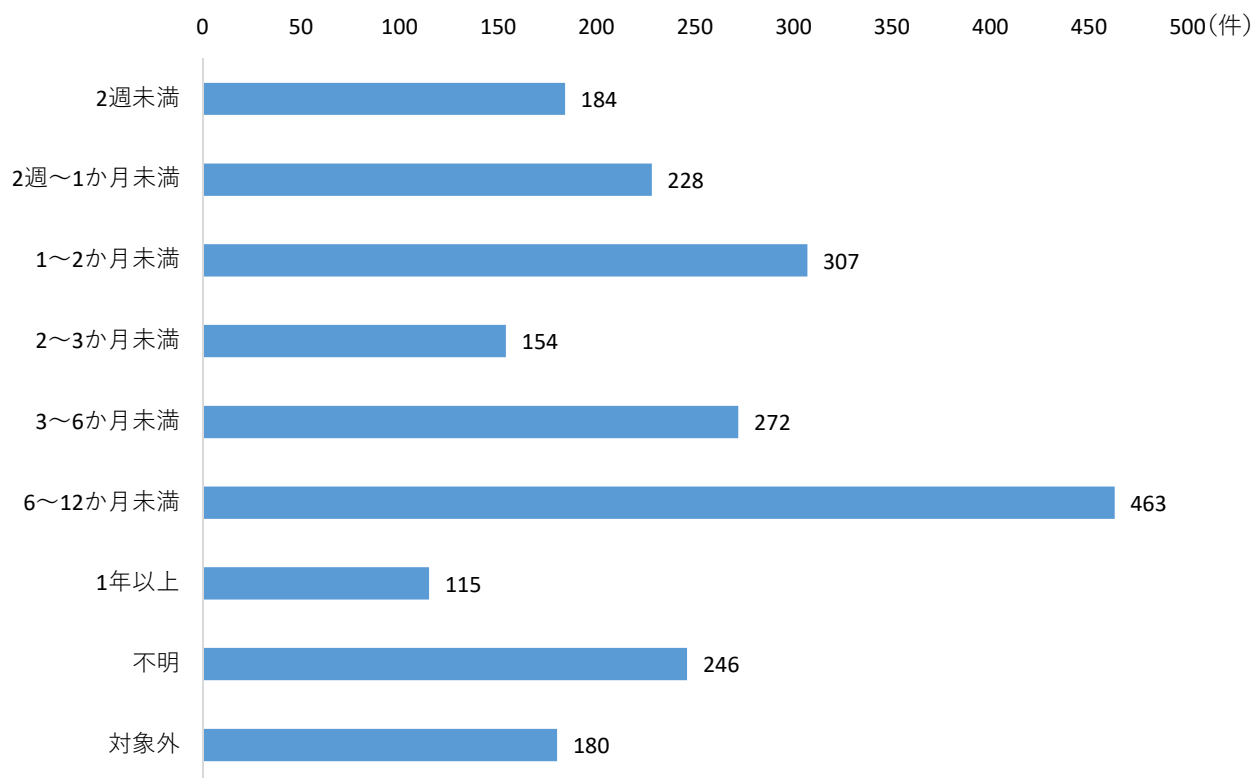


図6 接種後に相談した時期

(7) 最も困っている症状

第1報では、主たる症状を1つに特定し集計した。今回は、相談者が訴える症状は複数ある場合が多く、症状を1つに特定せず、すべての訴えを集計する方法に変更した（複数回答あり）。

最も困っている症状は、四肢・指関節痛459件、SIRVA*¹¹369件、倦怠感・脱力・慢性疲労344件、上下肢・体幹のしびれ252件、脱毛・皮膚症状228件、肩・頸部・背部・腰部・胸部痛218件の順であった。（図7）

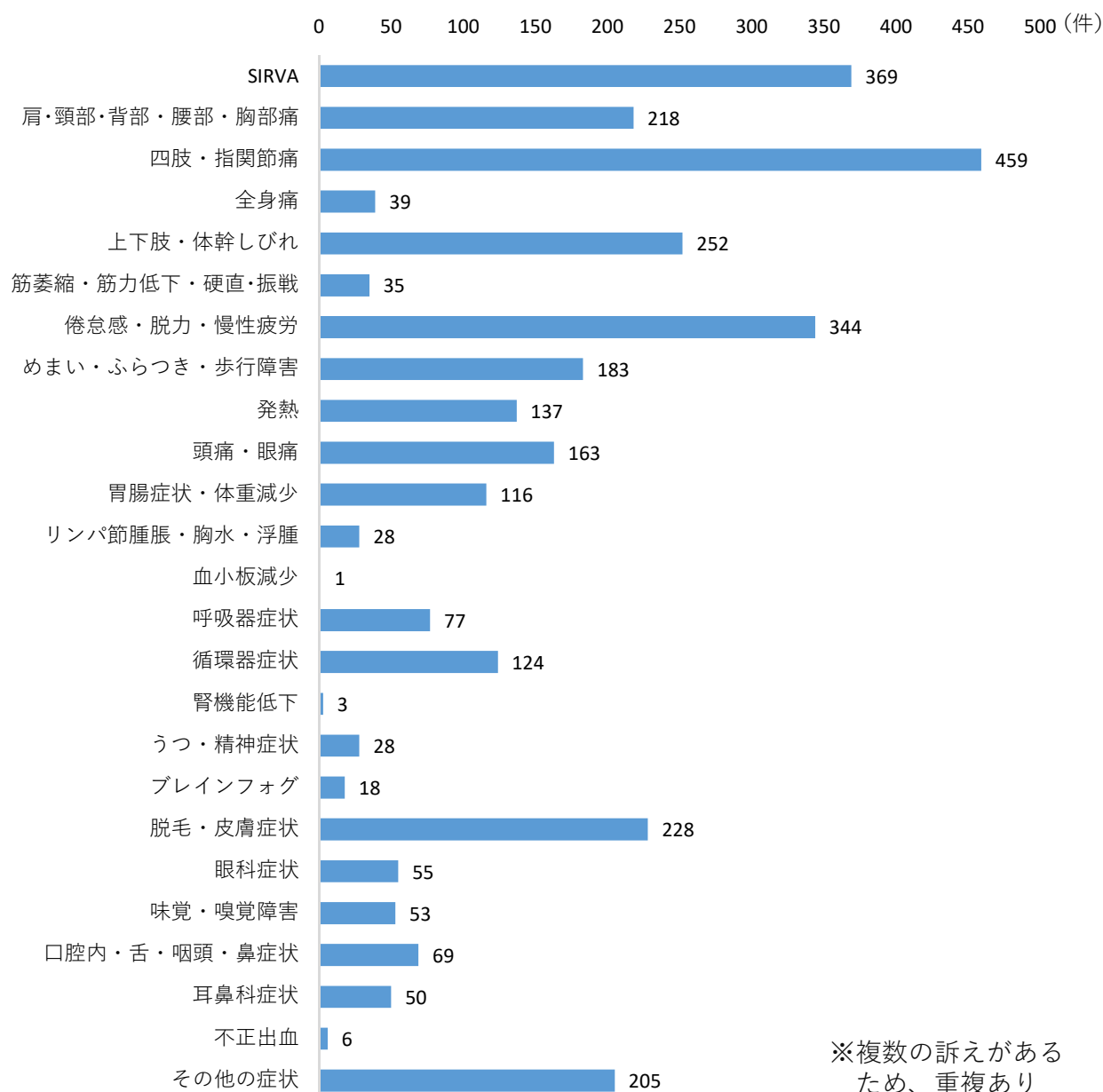
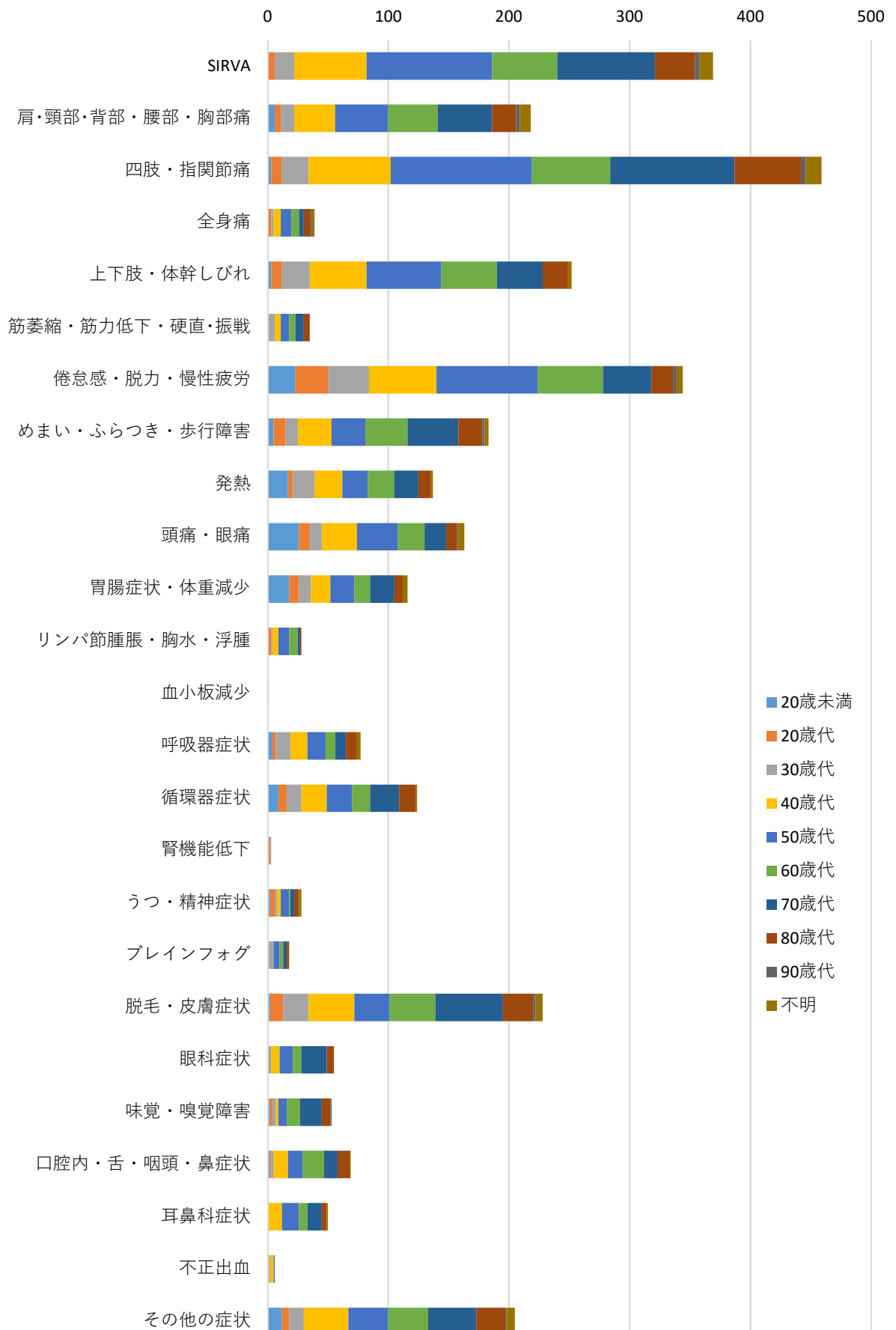


図7 最も困っている症状

年代別にみると、20歳未満は頭痛・眼痛、倦怠感・脱力・慢性疲労が多く、20歳代と30歳代は倦怠感・脱力・慢性疲労、40歳代は四肢・指関節痛、50歳代以上では四肢・指関節痛、SIRVAが多かった。

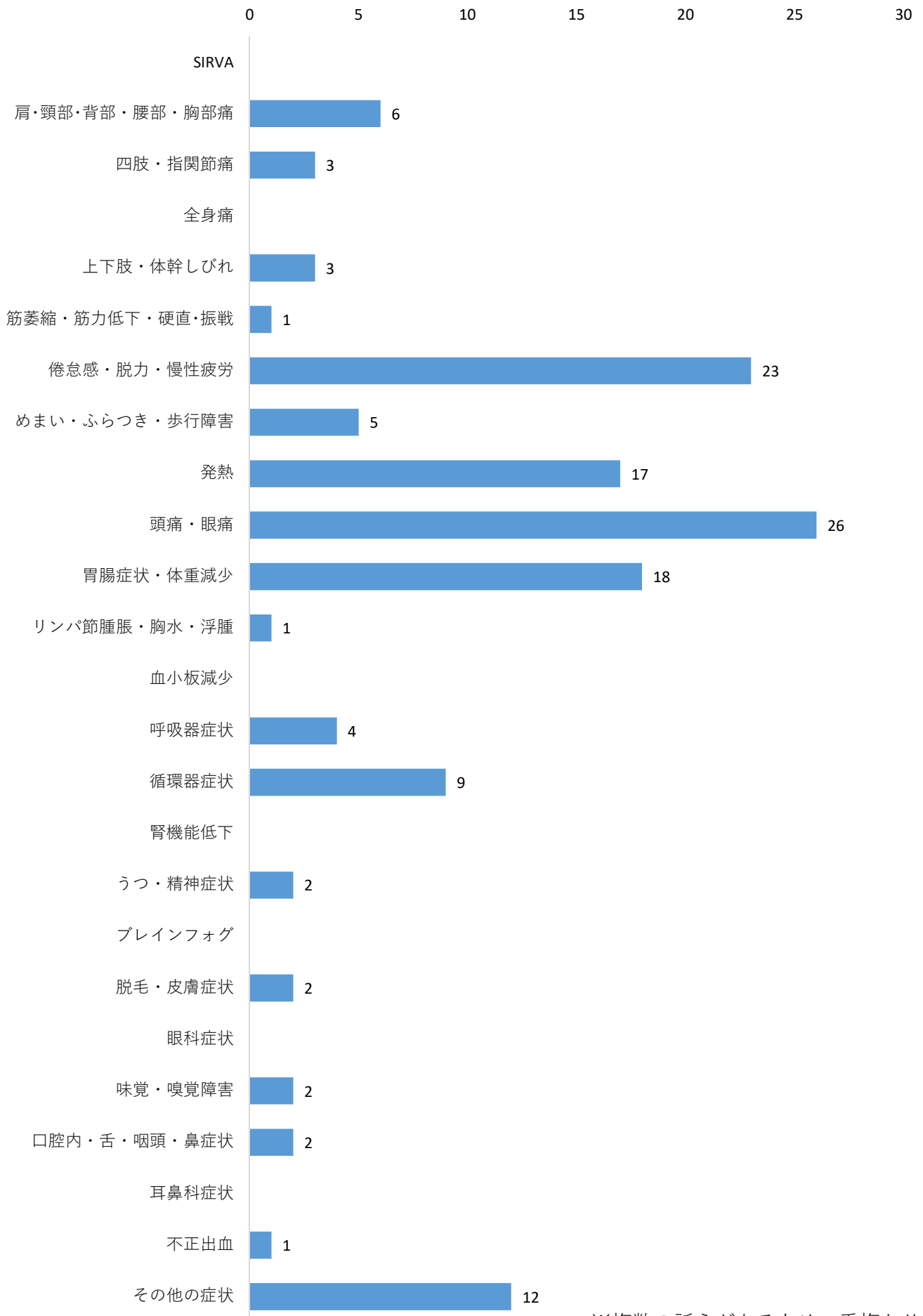
- *11 Shoulder Injury Related Vaccine Administrationの略。ワクチン接種に関連した肩関節障害と訳され、ワクチン接種後に生じる肩の急性炎症（肩関節周囲炎、滑液包炎、腱板炎など）で、肩の疼痛や可動域制限などが生じる。

【参考】年代別の症状（令和4年3月25日～令和5年3月31日の実績）



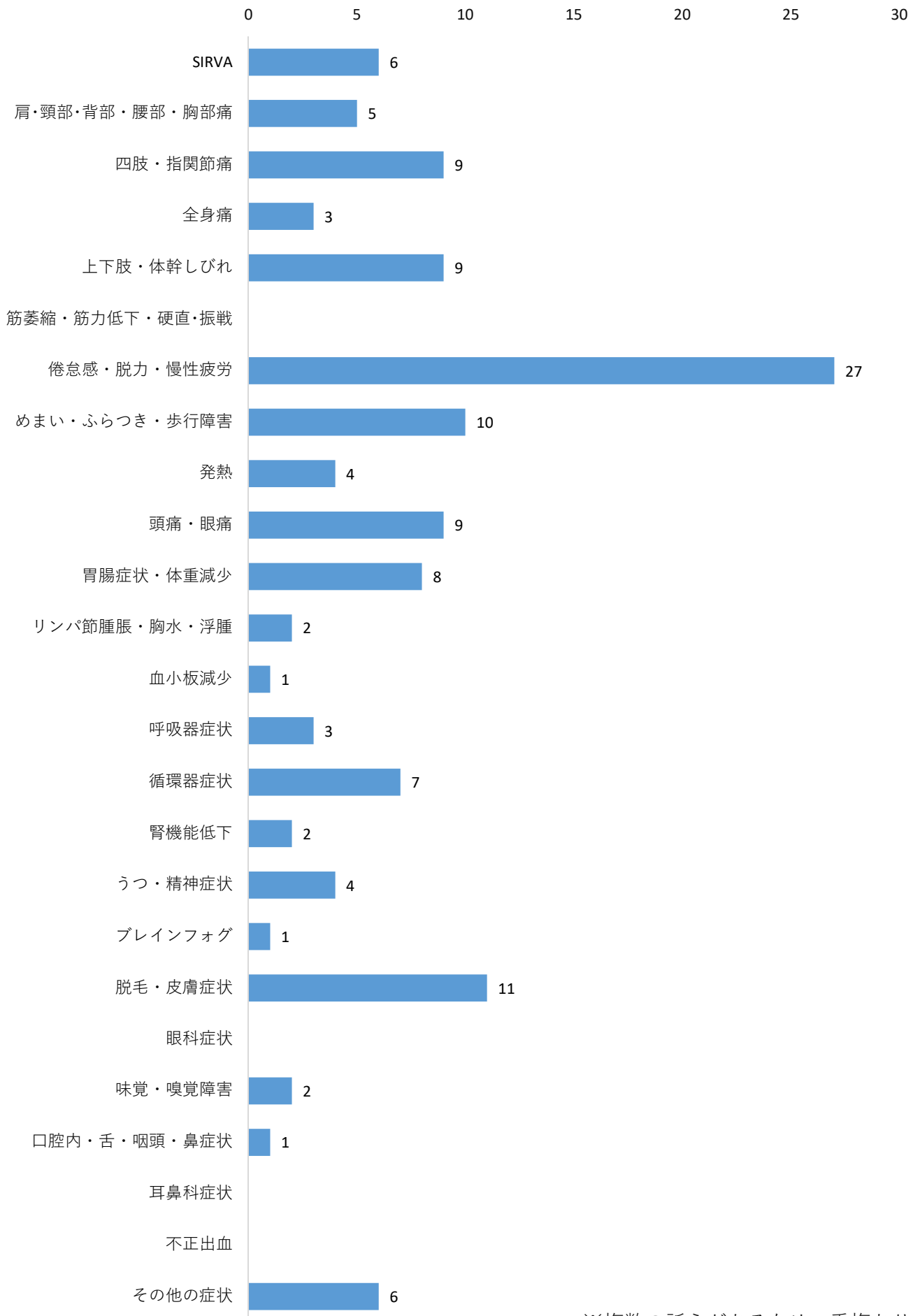
※複数の訴えがあるため、重複あり

20歳未満（68人）



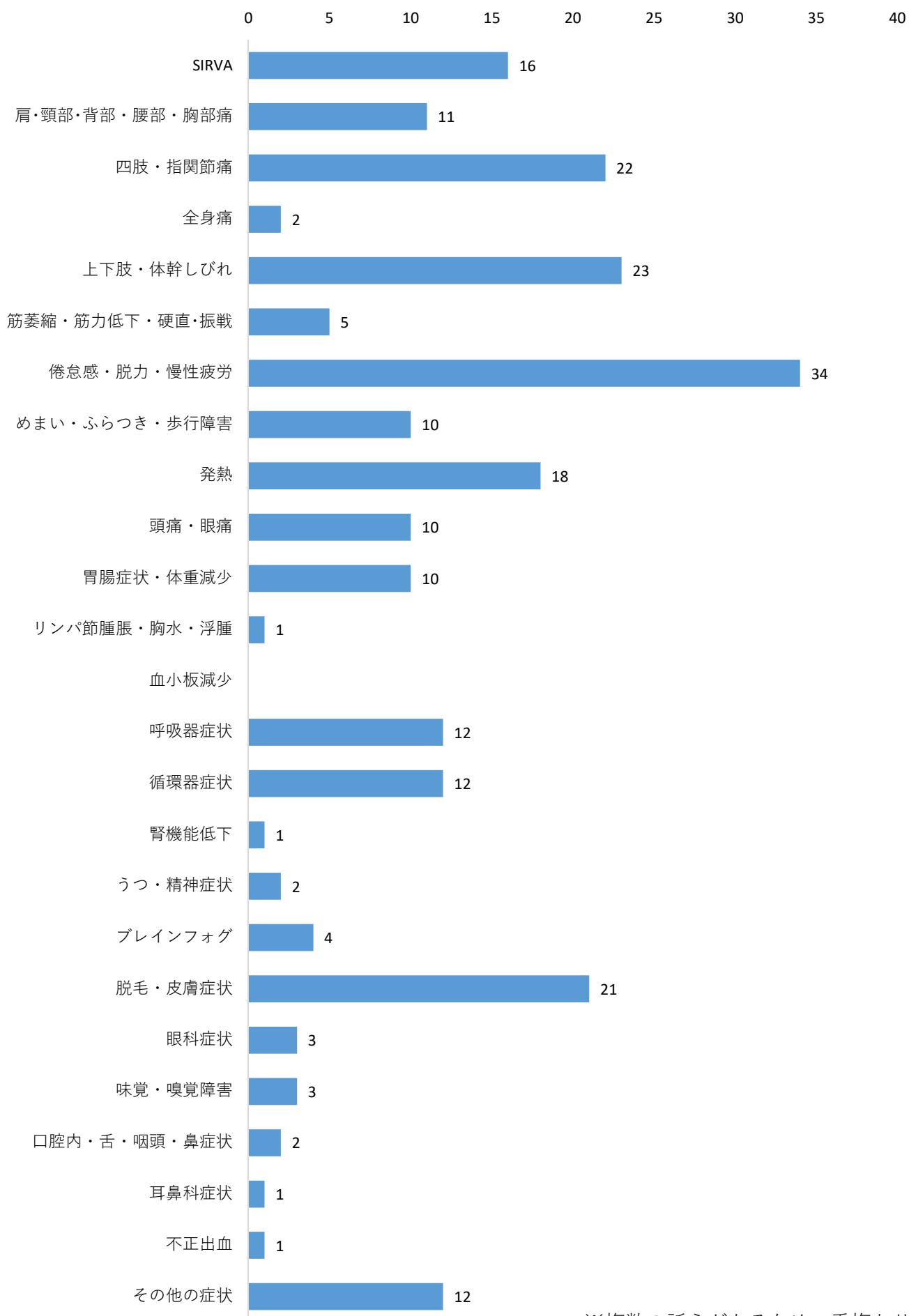
※複数の訴えがあるため、重複あり

20歳代 (80人)



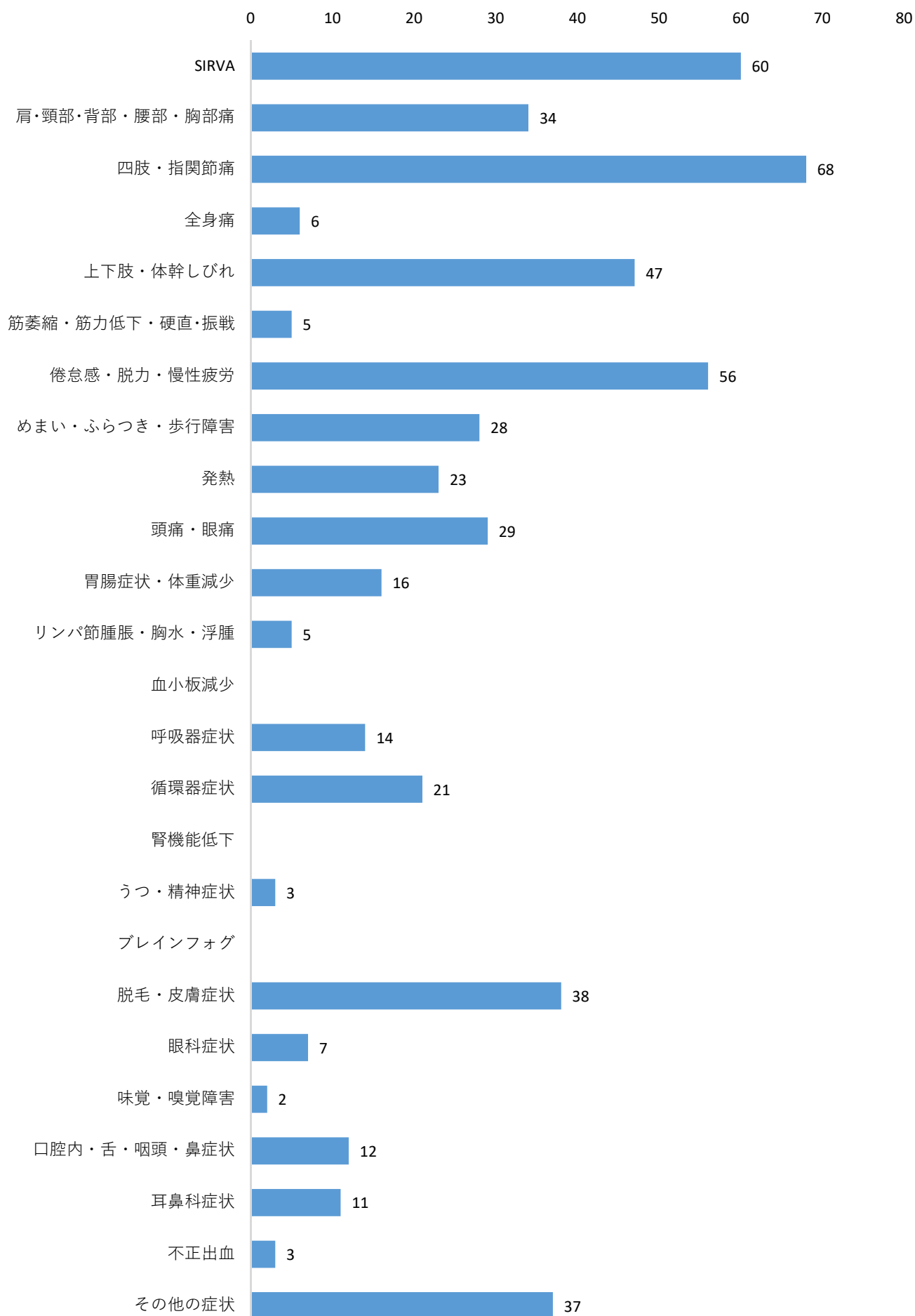
※複数の訴えがあるため、重複あり

30歳代 (135人)



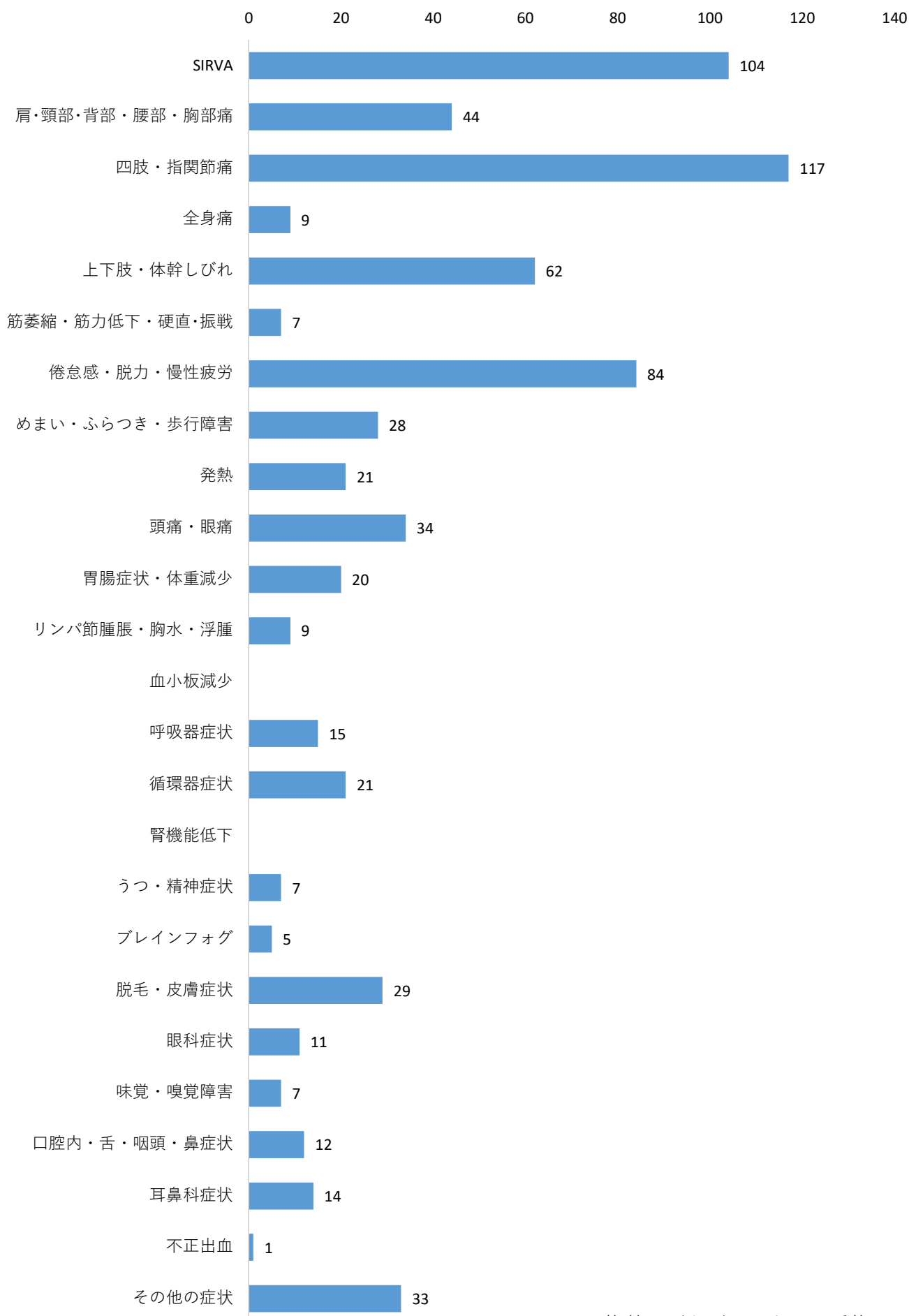
※複数の訴えがあるため、重複あり

40歳代 (324人)



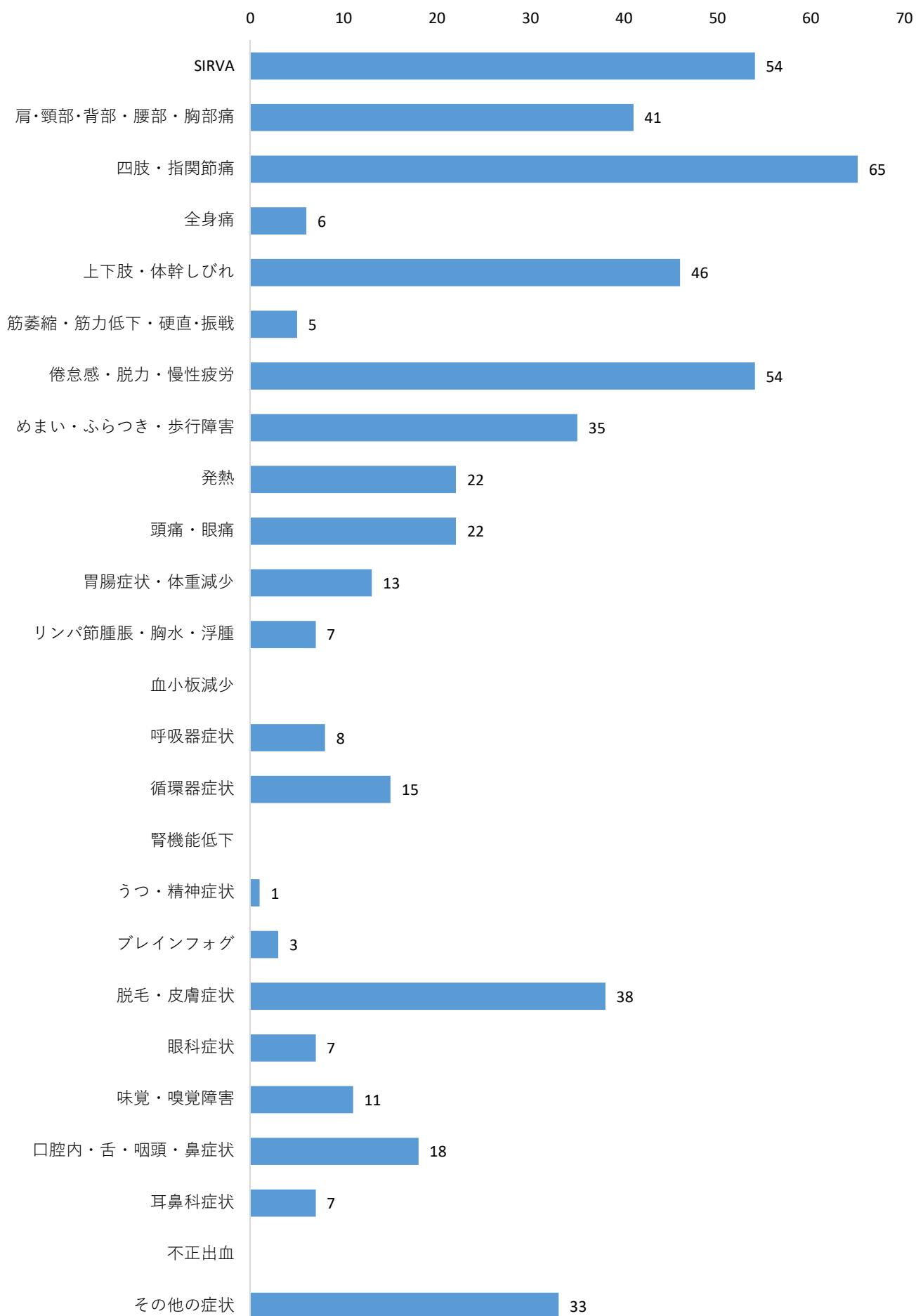
※複数の訴えがあるため、重複あり

50歳代 (409人)



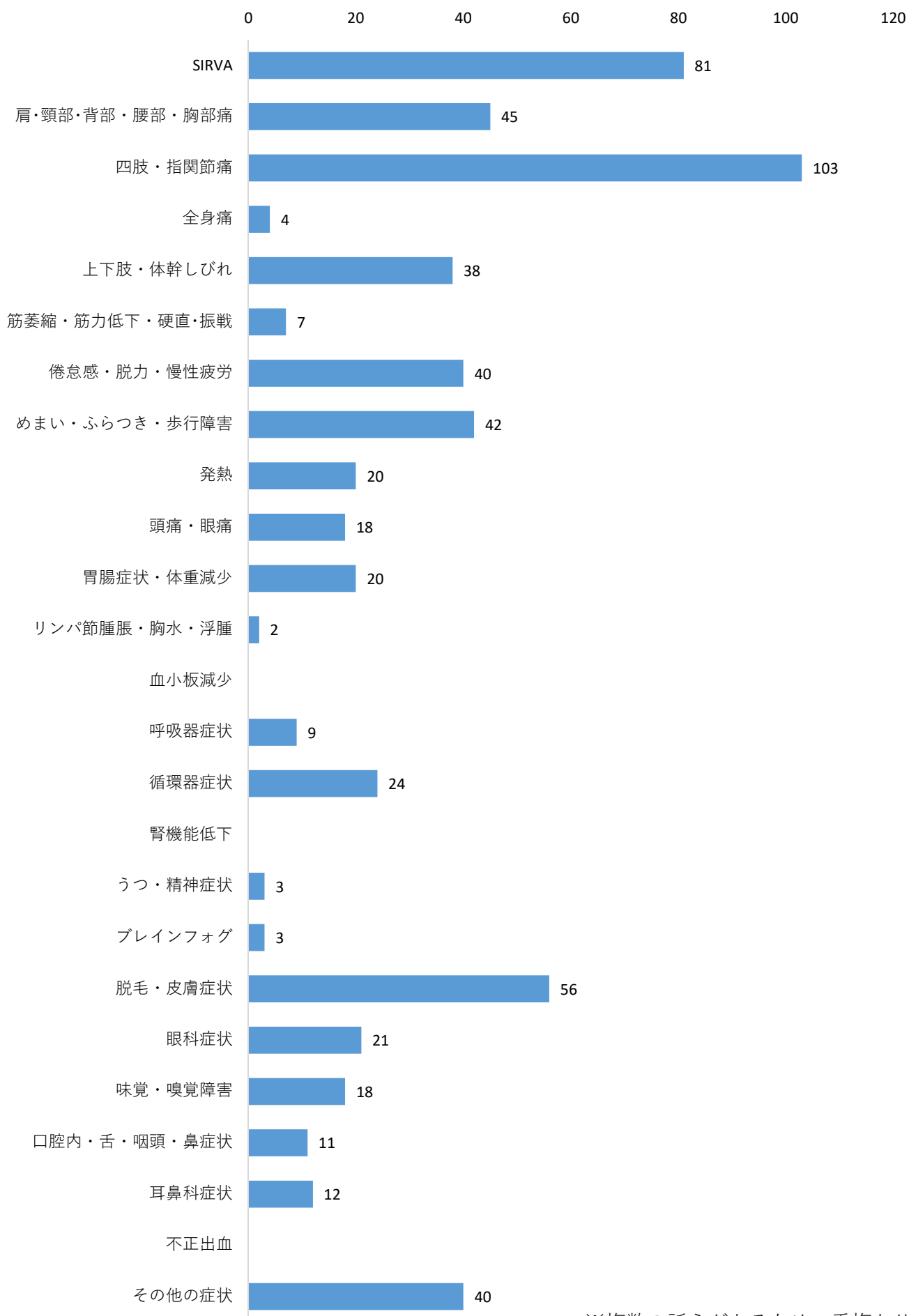
※複数の訴えがあるため、重複あり

60歳代 (334人)



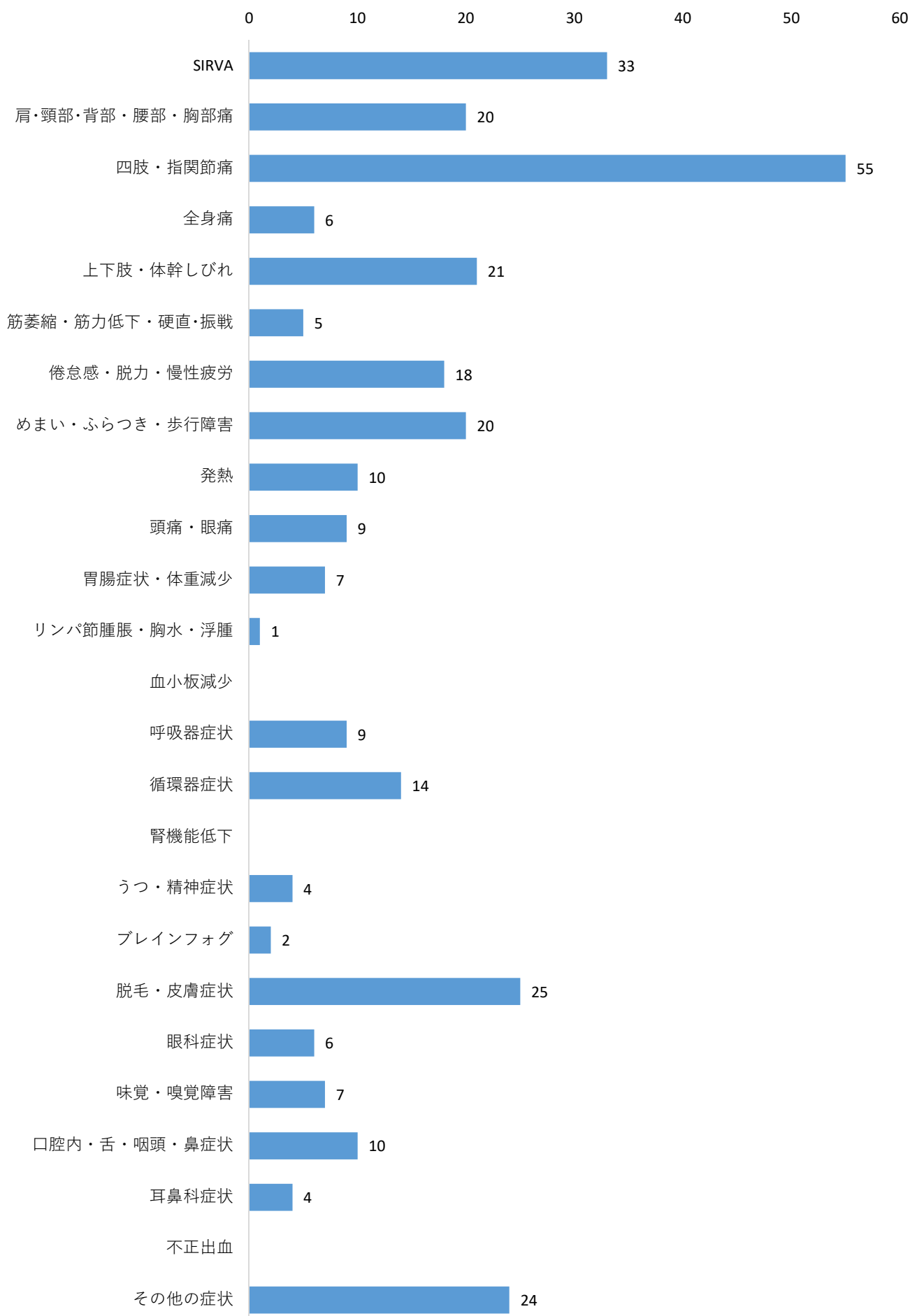
※複数の訴えがあるため、重複あり

70歳代 (426人)



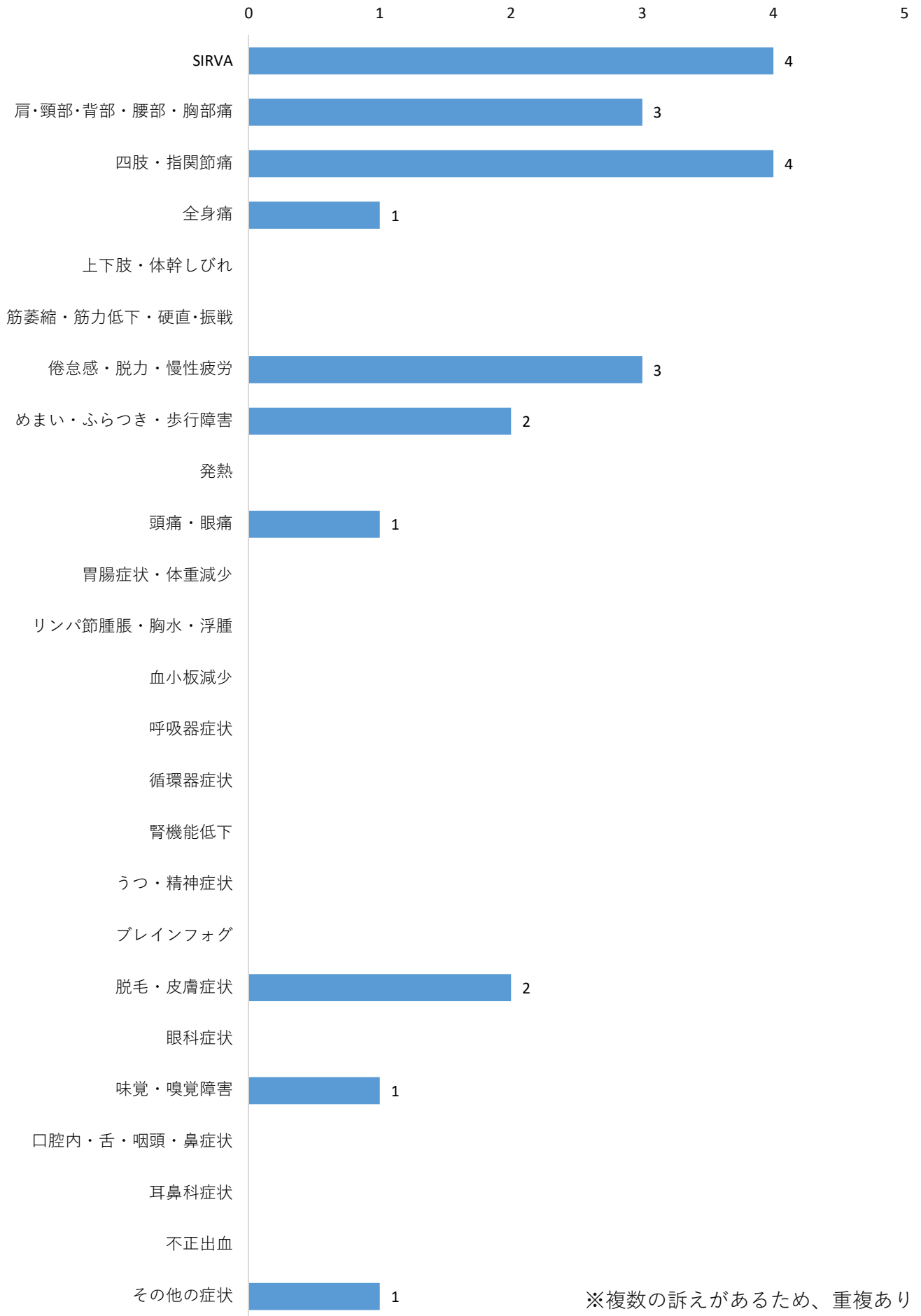
※複数の訴えがあるため、重複あり

80歳代 (214人)



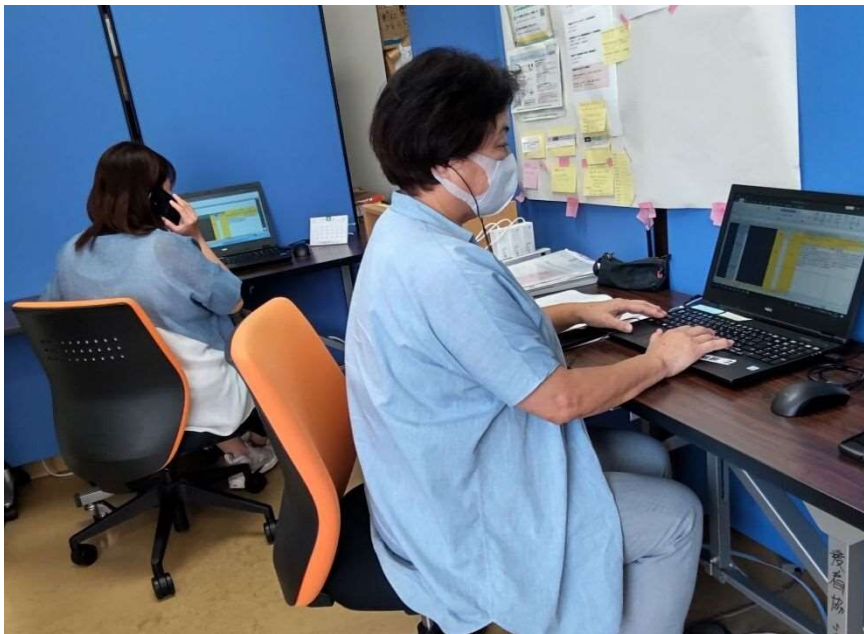
※複数の訴えがあるため、重複あり

90歳代 (20人)



※複数の訴えがあるため、重複あり

(8) 相談窓口の様子



| | |
|----------|--|
| (9) 実施検査 | <input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 画像検査 <input type="checkbox"/> 単純エックス線（部位： ） <input type="checkbox"/> CT（部位： ） <input type="checkbox"/> MRI（部位： ） <input type="checkbox"/> その他画像検査（ ） <input type="checkbox"/> 生理検査 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 肺機能検査 <input type="checkbox"/> 脳波 <input type="checkbox"/> エコー（部位： ） <input type="checkbox"/> その他生理検査（ ） <input type="checkbox"/> その他検査 |
| (10) 発症日 | 年 月 日 |
| 初診日 | 年 月 日（注）副反応疑いで受診した最初の日 |
| (11) 経過等 | <p>現在の患者の状態について、あてはまる項目に一つチェックしてください</p> <input type="checkbox"/> 軽快 <input type="checkbox"/> 改善傾向 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 増悪 <p>現在の患者の通院状況について、あてはまる項目に一つチェックしてください</p> <input type="checkbox"/> 治療終了 <input type="checkbox"/> 現在も通院中 <input type="checkbox"/> 転院 <input type="checkbox"/> 専門的な医療機関を紹介（県の11医療機関） 医療機関名（ ） <input type="checkbox"/> 他の医療機関を紹介（専門的な医療機関を除く） 医療機関名（ ） <input type="checkbox"/> 中断 <p>以下、自由記述欄</p> |

追 跡 調 査 票

医療機関名

※症例集第1報において、ご提供いただいた症例の追跡調査となります。

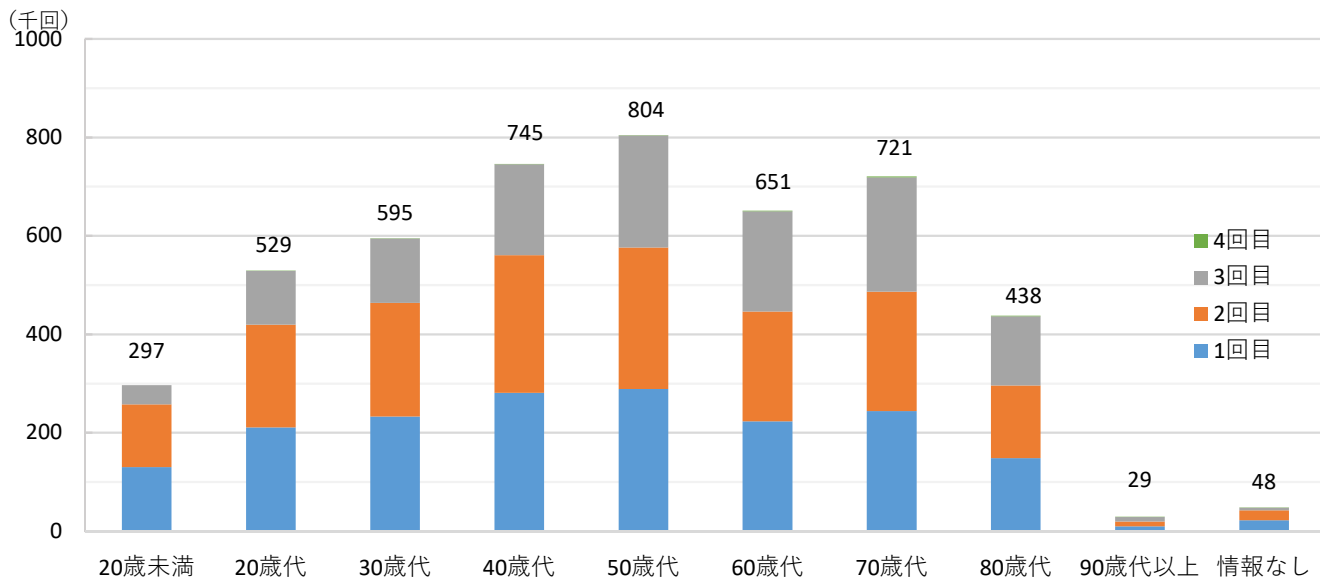
| | |
|-----------|---|
| 年 齢 | 歳 |
| (1) 性 別 | <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他 |
| (2) 経 過 等 | <p>現在の患者の通院状況について、あてはまる項目に一つチェックしてください</p> <input type="checkbox"/> 治療終了 <input type="checkbox"/> 現在も通院中 <input type="checkbox"/> 転院 <input type="checkbox"/> 専門的な医療機関を紹介（県の11医療機関） 医療機関名（ ） <input type="checkbox"/> 他の医療機関を紹介（専門的な医療機関を除く） 医療機関名（ ） <input type="checkbox"/> 中断 <p>以下、自由記述欄</p> <p>現在の患者の状態について、あてはまる項目に一つチェックしてください</p> <input type="checkbox"/> 軽快 <input type="checkbox"/> 改善傾向 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 増悪 <p>前回調査票提出以降の患者の経過について、ご自由にご記載ください。 （前回の調査票に記載がある部分は、省略していただいて結構です）</p> |

| | |
|---------------|--|
| (3) 4回目以降の接種歴 | <input type="checkbox"/> 4回目以降の接種なし <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 4回目以降の接種あり <input type="checkbox"/> 4回 接種日 () メーカー (ファイザー・モデルナ・その他 ())) オミكرون株対応ワクチンか (はい・いいえ・不明)) <input type="checkbox"/> 5回 接種日 () メーカー (ファイザー・モデルナ・その他 ())) オミكرون株対応ワクチンか (はい・いいえ・不明)) |
| (4) 現在の主な症状 | <input type="checkbox"/> 咳嗽 <input type="checkbox"/> 呼吸困難 <input type="checkbox"/> 喘鳴 <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 関節痛 <input type="checkbox"/> 筋肉痛 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 嘔気 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 脱力 <input type="checkbox"/> 口渇 <input type="checkbox"/> 食欲低下 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 味覚障害 <input type="checkbox"/> 嗅覚障害 <input type="checkbox"/> 咽頭違和感 <input type="checkbox"/> 嚥下障害 <input type="checkbox"/> しびれ <input type="checkbox"/> 手指こわばり <input type="checkbox"/> 筋力低下 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 記憶力低下 <input type="checkbox"/> 集中力の低下 <input type="checkbox"/> 睡眠障害 <input type="checkbox"/> 抑うつ <input type="checkbox"/> 脱毛 <input type="checkbox"/> 皮疹 <input type="checkbox"/> かゆみ <input type="checkbox"/> その他 () |
| (5) 治療方針 | <input type="checkbox"/> 薬物治療 (薬剤名：) <input type="checkbox"/> イベルメクチン投薬 (有・無) <input type="checkbox"/> 非薬物治療 () <input type="checkbox"/> 他院への紹介のみ |
| (6) 備考 | |

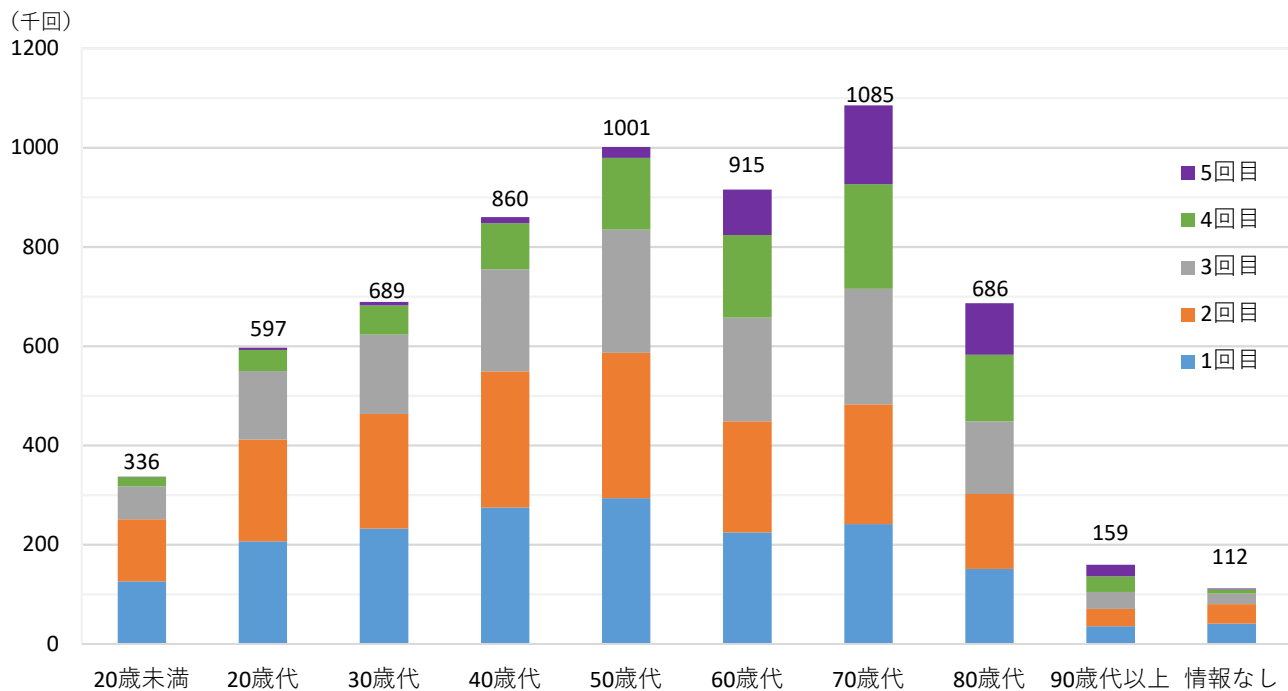
[資料3] 名古屋市のワクチン接種状況

(1) 年代別総接種回数

令和4年6月30日時点 計4,855,315回

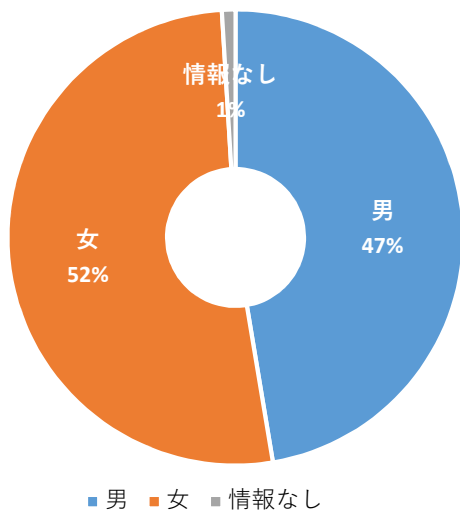


令和5年3月31日時点 計6,439,216回

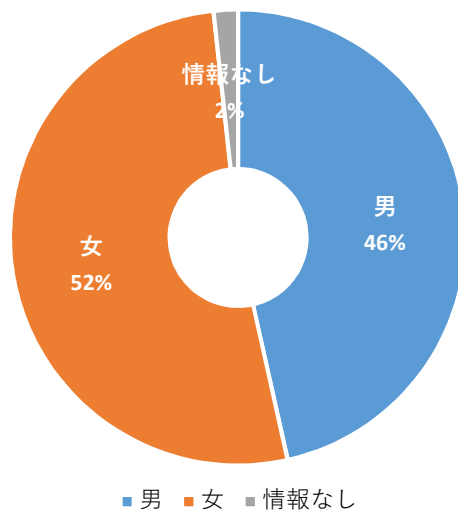


(2) 男女比

令和4年6月30日時点

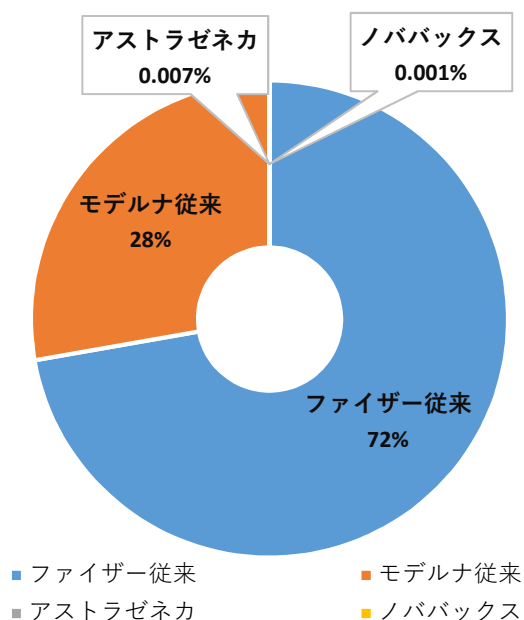


令和5年3月31日時点



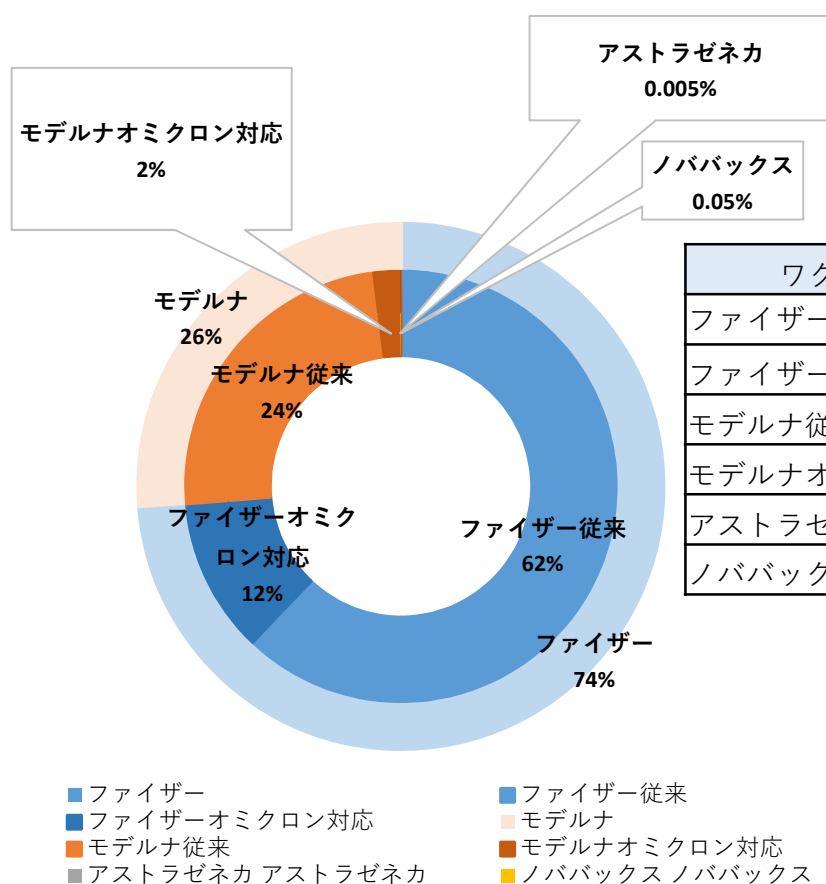
(3) ワクチン種別

令和4年6月30日時点



| ワクチン種別 | 総接種回数 | 割合 |
|---------|-----------|--------|
| ファイザー従来 | 3,559,152 | 72% |
| モデルナ従来 | 1,367,596 | 28% |
| アストラゼネカ | 350 | 0.007% |
| ノババックス | 95 | 0.001% |

令和5年3月31日時点



| ワクチン種別 | 総接種回数 | 割合 |
|--------------|-----------|--------|
| ファイザー従来 | 4,003,595 | 62% |
| ファイザーオミクロン対応 | 747,678 | 12% |
| モデルナ従来 | 1,564,882 | 24% |
| モデルナオミクロン対応 | 123,246 | 2% |
| アストラゼネカ | 354 | 0.005% |
| ノババックス | 3,537 | 0.05% |

